



http://j.people.com.cn/2007/08/13/jp20070813_75197.html

2007年8月13日 人民網日本語版

中国はなぜノーベル賞に縁がないのか(1)

ノーベル賞の創設から100年以上経つが、世界最大の人口を擁する中国がノーベル賞とずっと縁がなかったのはなぜだろう。この問題を考える人は次第に増えている。多くの面が関わってくるが、たとえば人材育成面では、何がノーベル賞の受賞を阻んできたのだろう。(文: 崔剛・清華大学外国語学部教授)

まず最初に受験教育が挙げられる。小学校から高校まで、さらには大学に入っても、さまざまな試験に絶えず追われる。楊振寧氏はかつて他のノーベル賞受賞者と共に中国で講演した際、「大学入試の最高得点者はいるか」との質問に、「中国の大学入試の基準に照らせば、われわれはみな落ちこぼれ。中高ではいつも上位10人より下でした」と笑った。筆者は大学院で、問題への最終解答ばかり教授に求める学生の多さに気づいたが、科学の最前線というものは、どれも絶えざる変化と発展の中にあり、模範解答を求めることなど不可能だ。ノーベル賞受賞者のスティーブン・チュー氏は「試験は決して重要ではないし、学生も1つの解決法に満足するだけではだめだ。重要なのは、科学的直感の

http://j.people.com.cn/2007/08/13/jp20070813_75177.html

2007年8月13日 人民網日本語版

中国はなぜノーベル賞に縁がないのか(2)

科学的精神を育成する社会環境に欠けることも、重要な原因の1つだ。科学研究には科学的な精神と姿勢が必要であり、科学者が科学への情熱と根気、堅忍不拔の意志を抱くことが必要だ。中国にはかつて「科学救国」の抱負を抱いた知識人の世代があり、華羅庚、錢三強、李四光など著名な科学者を生み出したし、ほどなく陳景潤などの科学者が時代の模範にもなった。(文: 崔剛・清華大学外国語学部教授)

また、ノーベル賞受賞者は誰もが例外なく、幼少時から科学への強烈な関心を示している。だがこの市場経済時代にあっては、科学の研究を志す子どもは減る一方で、スターや企業家に憧れる子どもの方が多

http://j.people.com.cn/2007/08/13/jp20070813_75180.html

習慣を育て、異なる方法で問題を扱うようにすることだ」と語る。次に、学生の知識構成が偏っているという問題がある。中高での早すぎる文系・理系分け、高等教育での細かすぎる専攻分けによって、学生の知識構成は偏り、文系・理系の区分はまるで壁のように横たわり、多くの学生が与えられた庭だけで活動をするようになる。文理統合と学際性が現代科学発展の基調であり、狭隘な知識と専門性は学生の創造性の発展に影を落とす。これでは職人型の研究者を生むだけで、巨匠の出現は期待し難い。筆者は一貫して言語学の研究に従事してきたが、この分野でも卓越した業績を残した学者には、学際的な知的バックグラウンドを持つ者が多い。現代言語学の父、ソシュールは若い頃に物理学と化学を学んだし、アメリカ構造主義言語学を代表するポアズは物理学の博士号を取得している。知識の幅の広さが、さらに広い視野を獲得させ、クリエイティブな思想の産出を容易にするのだ。(編集 NA)

い。高校卒業時の専攻選択では、とうに商科熱が科学を遥かに上回っている。

大学の学術環境も、学生の科学研究への認識、科学的な精神と姿勢作りに直接影響する。学術研究は代々の継承を必要とし、今日の研究者の言動は次の世代に直接影響する。ノーベル賞の受賞には多くの偶然性があり、また多方面の要因が関係する。ノーベル賞を受賞できるか否かについて、われわれは平常心を保つべきだ。だが、われわれがこの現象に対する再考を通じて、自身に存在する問題を突き止め、その改善を図ることができるなら、その意義は受賞そのものをはるかに超えるだろう。(編集 NA)

月探査衛星「嫦娥一号」が審査通過 打上げ段階へ

月周回探査工程指揮部は10日、月周回探査プロジェクトの動員会を開いた。月周回探査プロジェクトは現在、衛星「嫦娥一号」とキャリアロケット「長征三号甲」の開発が終わり、各項目の試験・検証・審査を通過した。打上げ施設、検査、地上の応用システムは完成。プロジェクトは月周回探査工程指導小の承認を経て、打上げ実施段階に入

http://j.people.com.cn/2007/08/11/jp20070811_75137.html

った。月周回探査プロジェクトが立案され、始動したのは2004年1月だった。研究・開発を委託された各機関の技術スタッフはその後、月軌道周回計画、三体運動のコントロール、遠距離観測・制御通信、月食時の対応など多くの技術的問題を解決し、プロジェクトの打上げ準備段階が完了。(編集ID)

2007年8月10日 23:00 DAILY NEDO[2007/08/10]

NEDO 成果報告書 35冊を技術情報データベースに追加

http://www.nedo.go.jp/database/newlist/new_list20070810.html

研究評価委員会「平成18年度 プロジェクトの評価報告書」掲載

<http://www.nedo.go.jp/iinkai/hyouka/houkoku/18h/index.html>

環境適応型小型航空機用エンジン研究開発

環境適応型高性能小型航空機研究開発

<http://www.nedo.go.jp/iinkai/hyouka/houkoku/18h/index.html>

平成18年度成果報告書「Kuバンド合成開口レーダの開発・利用に係る先導調査研究」

Title : Study on Governmental applications for a Ku band SAR Images

年度 2006 開始 2006 終了 作成者 財団法人資源探査用観測システム・宇宙環境利用研究開発機構

<p>「ハイパースペクトル(HS)センサ」、「合成開口レーダ」などの地球観測技術は、「気象変動・温暖化観測」、「水循環・気象・海象観測」、「地図作成」、「資源探査」、「環境保全」、「防災・安全」など社会生活の根幹に係わる情報を提供しており、今後これらの情報から得られる地理情報システム(GIS)のサービス産業拡大が見込まれている。合成開口レーダ(以下、「SAR」)はレーダアンテナから地表面に向けて照射したマイクロ波の反射波を観測する地球観測技術であり、いくつかの航空機搭載 SAR の開発を経て、1978 年米の海洋観測衛星 SEASAT に初搭載された。以後世界各国にて高分解能化、高機能化に向けた技術開発とともに、人工衛星、シャトル、航空機、無人飛行機等に搭載されている。我が国においては、1992 年地球資源探査衛星 JERS-1 に搭載され、資源探査の他に地殻変動検出等においても実績を挙げ、その後継として陸域観測技術衛星(ALOS)が H17 年度に打上げられ運用されている(いずれも L バンド使用)。SAR で得られるデータや画像には、「防災・安全」、「資源探査」、「地図作成」、「環境保全」等の目的に利用できる情報が含まれ、社会生活向上や産業振興に寄与している。今後 SAR 技術は、1 使用周波数の高周波数化による「高分解能化」、2 SAR システム小型・軽量化が進展すると考えられ、Ku バンド SAR への期待が大きい。また、利用面からみても高分解能という点からのニーズが大きい。H18 年度は、H16、17 年度の結果を基に、H20 年以降プロジェクト化を計画している Ku バンド SAR 開発計画に資するため先導研究を実施することを目的とし、Ku バンド SAR 開発利用推進に関する調査検討、航空機 Ku バンド SAR による事前検証などの先導研究を実施し、開発計画策定に資する。</p>	<p>The earth observation technology like high spectral resolution sensors and synthetic aperture radars has been providing with key information related to social activities such as climate change and global warming monitoring, water cycle monitoring for land and sea, geological mapping, earth resources detection, environmental monitoring, land safety etc. The information to be obtained through signal processing of these remote sensing data with geological information system can be expected to be big growth. Synthetic Aperture Radar (SAR) is capable of producing images of the earth surface. The antenna of a radar transmits sequence of chirp pulses of microwave energy, receives radar echoes reflected some of the incident energy back toward the radar from the earth, and processes to produce an image of the earth surface. The SAESAT was launched in 1978 by the U.S. Navy and became the first SAR in orbit based on the technology development of many air-boarded SAR. There are many Synthetic Aperture Radar (SAR) boarded on satellites, the Space Shuttle and aircrafts in operation. The SAR boarded on the JERS-1 was launched in 1992 and provided many images of detection of displacement associated with crustal movement as well as images of the earth resources. The L-band SAR boarded on the ALOS as a JERS-1 SAR follow-on mission was launched in 2004. The images that SAR provide include information for natural disaster monitoring and mitigation, land observation, mapping, environment monitoring and facilitate improvement of social activities and industries. The SAR technology is expected to forward to be high resolution images using high frequency band as well as to making a small and light weight SAR. Ku band SAR will coincide with these technology tendency. From user points of views, high resolution images will be very much appreciated. This Fiscal 2006 follow-on technological survey based on both the Fiscal 2004 and 2005 study is to get information on governmental applications with requirements the governmental agencies need in order to make a new Ku band SAR project plan to be supposed to start in 2008 through the interviews with Ku band SAR sample images. The sample images were taken by the same Ku band SAR system boarded on the Gulf Stream-II jet aircraft instead of the Cessna 208 aircraft used in 2005. The potential governmental applications are supposed to be the DSM and DEM of the areas which are covered cloud through a year, precision agriculture application, vegetation canopy height measurements, and natural disaster monitoring and mitigation, the terrain data collection surface with high spatial resolution within 45km radius of the international air field. The conclusion is the almost all potential applications will be satisfied through images a Ku band SAR to be provided. Synchronized fleet of both a</p>
---	--

http://www.tech.nedo.go.jp/servlet/TopPageServlet?KENSAKU=HOKOKUSYO&kensakuHoho=Barcode_Kensaku&db=n&SERCHBARCODE=100010223

2007 年 8 月 3 日 23:00 DAILY NEDO[2007/08/03]

NEDO 成果報告書 93 冊を技術情報データベースに追加

http://www.nedo.go.jp/database/newlist/new_list20070803.html

平成 18 年度成果報告書 米国における科学技術政策の的確な把握のための基本情報調査(その1)

米国イノベーション・システムにおける大学の役割

年度 2006 開始 2006 終了 作成者 NEDOワシントン事務所

<p>米イノベーションの強みは、未知の科学技術分野を開拓する「フロンティア探求能力」が他国よりも優れている点にある。そして、このフロンティア探求能力の中心となっているのは、米における基礎研究の5割以上を担っているリサーチ・ユニバーシティである。ここから、リサーチ・ユニバーシティは米イノベーションの源泉であるといえる。米では、産業が抱える問題やニーズに大学研究がソリューションを提供するという関係が確立されている。企業ニーズに対応した大学研究プログラムはさまざまな形で行われており、100社以上の企業スポンサが参加し大規模に行われているプログラムもあれば、1社との間で長期的な研究契約を結ぶ場合もある。また、産学連携を支援する連邦施策の一部として機能し、地元企業の具体的なニーズに対応した研究プログラムを行う大学もある。産業界から大学への研究開発資金提供も積極的に行われており、2005年度には同資金提供額が史上最高の23億ドルに達した。米の大学には、市場の動きを常に意識し、市場変化に迅速な対応をする「市場マインド」を持っているところが多い。こうした市場マインドを持つ大学は、自分たちの大学内で得られた研究成果を地域経済や市場に送出すことに積極的である。大学の市場マインドは、取得特許件数やライセンス収入、スタートアップ企業数といった観点から測ることが可能であり、ある調査機関報告によれば、MIT、カリフォルニア大、カリフォルニア工科大、スタンフォード大が市場マインドの高い大学として挙げられている。市場マインドが強い大学では、起業を目指す者（学生、教授、研究者を問わず）を奨励、育成するアントレプレナー・プログラムやイノベーション・プログラムが積極的に行われている。大学は、企業スポンサによる研究活動から得られた知識や企業ニーズを教育プログラムに反映させたり、学際化やグローバル化に対応したプログラムを新設するなど、柔軟な対応をしている。「リサーチ・ユニバーシティの存在なくして効果的なクラスタを作ることは難しい」（米国科学技術研究同盟（ASTRA）のグッド理事長）といわれるほど、リサーチ・ユニバーシティが地域経済にもたらす影響は大きい。大学は、“象牙の塔”というイメージを払拭し、州政府や地方自治体など政府関係者、地域コミュニティ、地域企業、商工会、コミュニティカレッジなどへ働きかけ、地域における大学の役割を積極的にアピールしている。このように「地元へのエンゲージメント（積極的な働きかけ）」を行う大学は、米のイノベーション・システムに多大な貢献をしている。米では、リサーチ・ユニバーシティなどを中心に構成される大学研究推進団体が多くあり、ワシントンの政策立案者に向けて強力なロビー活動を展開している。これらの団体は現在、「米のイノベーション力は衰えつつあり、大学での基礎研究基盤を維持・強化する必要がある」と主張、基礎研究への連邦支援を増大させるよう積極的にアピールしている。一方、連邦政府による産学連携支援の歴史は長く、戦前から始まっている。こうした連邦施策には、地域経済開発に大学リソースを活用することを目的としたものから、特定の産業や技術分野における産学連携研究を支援するものまで多岐にわたる他、NSFやNASA、商務省、運輸省、国土安全保障省と、さまざまな連邦省庁が関与している点の特徴となっている。また、従来の研究開発文化を打破するような新しいイノベーション創出の仕組みとして、さまざまな“大胆かつ斬新な施策”が検討されている。</p>	<p>“Sustaining the United States’ economic growth depends substantially on our ability to advance the frontier of modern technological and scientific advances” (by Richard Freeman of Harvard University) – this “ability to advance the frontier” is regarded as one of the strengths of US innovation system. And this ability depends on to a large part the research universities, which conduct most of basic research in the US and are one of the most critical sources of US innovation. In the US, the relationship between industry and research universities is well established. Research universities provide solutions to industry’s problems and needs. There are diverse levels of research programs for industry in universities, such as a program in which more than 100 companies participate, a contract research project between a university and a company which conduct a specific research tailored to the company’s long-term need, and so on. Some universities also help local companies through federal programs such as Department of Commerce’s MEP (Manufacturing Extension Program). The funding level by the industry to research and development activities in universities reached an all-time high of \$2.3 billion in FY 2005. Many research universities are very attuned to the market needs. That means they are always aware of market trends and respond to them quickly. These universities are active in contributing to local economic developments through commercialization of university technology. These universities’ commercialization capability can be measured with the number of patents, licenses, and start-ups; according to a report by Milken Institute, MIT, University of California System, California Institute of Technology, Stanford University are among the top institutions in the University Technology Transfer and Commercialization Index. There are various entrepreneur/innovation programs in the US universities. These programs are intended to encourage university people (students, professors, and researchers) to start business based on university technology. Faculties and administrators try to reflect latest industry needs and knowledge which they have gained from company sponsored research. Some of new programs are intended to deal with multidisciplinary research and globalization of technology, industry and research. As Dr. Mary Good, the president of the Alliance for Science & Technology Research in America (ASTRA) said, “it is difficult to accelerate technology-based economy without research universities,” the presence of research universities are critical to build technology-based clusters. Universities, which are trying to get out of “Ivory Tower”, appeal their value to the local economy, communicating with stakeholders such as local governments, local firms, business organizations, and community colleges, and aggressively try to engage in local economic development strategies.</p>
---	---

http://www.tech.nedo.go.jp/servlet/TopPageServlet?KENSAKU=HOKOKUSYO&kensakuHoho=Barcode_Kensaku&db=n&SERCHBARCODE=100010226

平成 18 年度成果報告書 米国のBRICS等新興諸国との間の技術連携戦略調査

米国における対中アプローチ ―技術面における取り込みや溶け込み―

年度 2006 開始 2006 終了 作成者 NEDOワシントン事務所

<p>近年の統計を見ると、中国人に発行された学生査証数、米国大学院に入学した中国人学生総数、米で博士号を取得した中国人学生数はそれぞれ増加してきている。また、米で博士号を取得した中国人学生がその後も米に滞在する割合は、ここ 15 年間で増加傾向を見せている。米国内で居住する外国人の科学者・工学者のうち、中国人が占める割合は、インドと共に最高水準となっている。中国では、科学技術分野で学位を取得する学生数が近年急増してきているものの、理論を偏重する中国の大学教育システムが障害となり、有用な人材は十分に育っていない。他方、上記のように外国(おもに米)で勉強し、ビジネス経験を積んだ中国人が自国に戻り、起業したり、多国籍企業幹部に就任し、成功するというケースが増加してきている。労働力が安価な中国は、従来、多国籍企業の製造拠点として成長してきた。しかし近年、新たな R&D 拠点としての可能性も注目されてきており、対中 R&D 投資は他国と比較して確実に増加してきている。こうした現象に対し、米国内では、科学技術分野における競争力を中国に奪われてしまうのではないかと懸念も表れてきている。しかし中国でビジネスを行う上で、いまだ未解決の障害も残っている。特に中国政府による不透明な規制、知的財産権保護の弱さ、標準化の問題などがしばしば挙げられる。中国政府がこうした障害の除去を助けるべく、米政府は、知的所有権専門家の派遣、ラウンドテーブル・ワークショップ開催、規格標準に関するデータベース作成など、さまざまな取組みを行っている。米企業による中国市場へのアクセス拡大、知的財産権保護改善、透明性向上、など、ゆとりとではあるが、こうした取組みは成果をあげてきている。1990 年代初頭以降、多くの米国系多国籍企業が中国進出を行っている。代表的な例としては、マイクロソフト、モトローラ、インテル、IBM などがある。これら企業はそれぞれ 1000 人以上の研究者、数千人単位の現地従業員を抱え、産学連携にも力を入れている。マイクロソフト・リサーチ・アジア(MSR アジア)を成功させ、グーグルの中国進出を指揮している Kai-fu Lee 氏によれば、多国籍企業が中国で成功するためには、1 中国政府との強い関係構築、2 中国の市場ルールへの遵守、3 長期的なコミットメント、などといった条件を挙げている。米においては、科学・工学のキャリアを追求する学生数が減少しているのみならず、科学競争力を強化しようと努力する本国の呼びかけに応じ帰国する外国人留学生が増え、こうした現象が米科学競争力の低下につながるのではないかと懸念されている。こうした状況を受け、優秀な外国人科学者・工学者を確保することは、米企業にとり重要な問題となっている。米のテクノロジー業界幹部には、年間 6 万 5,000 人という米国就労査証(H-1B)発行数を拡大するよう求める声が大い。その筆頭は、マイクロソフトのビル・ゲイツ(Bill Gates)会長である。ただし、H-1B 査証プログラムによって、米国人労働者が失業に追込まれているとして、同プログラムに反対する者も多い。また、2001 年の同時多発テロ事件後、査証取得のプロセスが長期化しており、米中間で従業員や顧客の交流を図ろうとする米企業にとり頭の痛い問題となっている。こうした問題を解決するため、米中両政府は 2005 年初頭に、1 年間に複数の往復を認める査証を相互に発行することで合意するなど対策は立てられているものの、米国査証プロセスは依然として不安定で、先が見えない状況となっている。</p>	<p>The number of student visas issued for Chinese, the number of Chinese students enrolling US graduate schools, and the number of Doctoral degrees earned by Chinese students have been all increasing. In addition, more Chinese students remain in the US after earning Doctoral degrees in this 15 years than ever. Among foreign scientists and engineers in the US, the proportion of Chinese is one of the biggest along with Indians. In China, although the number of students who earn degrees in science and engineering fields has been increasing rapidly lately, it is not producing high quality human resources due to Chinese education system which places excessive emphasis on theories. In contrast, many of those Chinese who study and earn business experience in foreign countries (especially the US) are successfully back in China, by starting up companies and becoming executives in transnational corporations operating in China. Due to cheap labor, China had long developed as a manufacturing base of transnational corporations. China has been gaining attention as a future base of R&D as well, which is causing the increase of R&D investment in the country compared to other countries. The US concerns that China may gain more competitiveness than the US and take over US leadership in science and technology fields. However, there are still some obstacles for doing business in China. Special concerns are shown on the intransparency(non-transparency?) of regulations, the weak protection of intellectual property, and issue of standardization. In order to help the Chinese government solve these problems, the US government has been taking various efforts, which include sending intellectual property specialists to China, launching roundtables and workshops on these issues, and creating databases on code and standard. Thanks to these efforts, these obstacles have been solved gradually, but slowly. Since early 1990s, many US-based multi-national corporations, including Microsoft, Motorola, Intel and IBM, have been doing business in China. All these companies hire locally thousands of researchers, and collaborate with Chinese universities. According to Kai-fu Lee, who led the success of Microsoft Research Asia and directing Google's entry into China, transnational corporations need to 1) build strong relations with the Chinese government, 2) follow Chinese market's rules, and 3) maintain long-term commitment, for their business success in the country. In the US, not only is the number of students in science and engineering fields decreasing, the number of foreign students in the fields is decreasing due to the efforts of their mother countries to attract them to gain competitiveness in the fields. These phenomena are causing a fear that it may cause the decrease of American scientific competitiveness. Facing such a situation, it is a significant issue for US companies to secure competent foreign scientists and engineers.</p>
---	--

http://www.tech.nedo.go.jp/servlet/TopPageServlet?KENSAKU=HOKOKUSYO&kensakuHoho=Barcode_Kensaku&db=n&SERCHBARCODE=100010229

2007 年 7 月 25 日 23:25 NEDO EXTRA[2007/07/25]

燃料電池の航空機への適用研究(EU、米国)

<http://www.nedo.go.jp/kankobutsu/report/1004/1004-07.pdf?nem>

2007 年 7 月 13 日 23:00 DAILY NEDO[2007/07/13]

NEDO 成果報告書 53 冊を技術情報データベースに追加

http://www.nedo.go.jp/database/newlist/new_list20070713.html

平成 15 年度～平成 18 年度成果報告書

「宇宙等極限環境における電子部品等の利用に関する研究開発 宇宙における電子部品等の利用に関する研究開発」

Summary of Study Report on Utilization Electronic Parts, etc. in Extreme Environments

年度 2003 開始 2006 終了 作成者 財団法人無人宇宙実験システム研究開発機構(以下 USEF)

本書は H15 から 18 年度にわたり USEF が実施した「宇宙等極限環境における電子部品等の利用に関する研究開発(宇宙における電子部品等の利用に関する研究開発)の成果報告書である。各研究項目の成果と達成状況は次のとおり:

- ・地上模擬試験:本期間に民生部品・民生技術に対する地上模擬試験は 22 種実施し、その結果を民生部品・民生技術データベースに登録。本プロジェクトにおいてこれまでに評価した 204 品種の民生部品の内、放射線耐性の観点から約 60%が中低高度地球周回衛星に使用可能であることが判明。
- ・放射線耐性予測実験として、東北大との共同研究でサイクロトロン・ラジオアイソトープセンタのサイクロトロン施設に民生部品のシングルイベント試験専用の照射装置を設置して陽子 SEU と重イオン SEU 断面積間の相関関係を求める実験を実施してきた。一方、九州大との共同研究として重イオン SEU 断面積から陽子 SEU 断面積を求めるための半経験式の核反応理論を用いた改良式導出作業を実施。
- ・放射線耐性予測評価として、民生メモリについてメモリセル面積に対する TID 耐性、SEU 断面積とその閾値 LET の関係式を導出し、次世代メモリの放射線耐性を予測する手法を求めた。また、この手法をメモリ以外の民生部品への適用性検討を行った。
- ・MEMS 機器の調査・データ取得では、宇宙機器に適用が期待される MEMS に対する現状技術、動向調査を実施し、我が国では RF-MEMS が最も実用に近い状態であることが判った。また RF-MEMS に対する放射線試験を実施し、その放射線耐性を明らかにした。
- ・宇宙実証構想の検討として、民生部品・民生技術を簡便に宇宙実証するための小型衛星システム検討を実施。また併せてそれらを用いた産業利用調査を実施。
- ・近年携帯電話基地局で使用されているワイドバンドギャップ素子である GaN の固体電力増幅器 (SSPA) への適用性を検討し、将来の SSPA 用の有望な電力増幅素子であることを明らかにした。
- ・近年環境負荷低減のため増加している鉛フリー化民生部品に対するハンダ付評価を実施し、ハンダ付性劣化を最小限に抑えるスクリーニング方法等を明らかにした。
- ・グレードアップされ、新たに市場投入された 12Ah リチウムイオンバッテリーサイクル劣化特性を取得し、その宇宙機器への適用性を評価。
- ・第一次民生部品・民生技術選定評価ガイドラインを完成。
- ・開発支援システムを実証衛星の開発に適用すると共に、その効果を定量的に確認。また、システムの高速度化、操作性向上のための改修を行った。更に、老朽化したテレメトリ・コマンド(TC)データベース換装を行った。

A total of 22 commercial-off-the-shelf (COTS) parts were subjected to the ground evaluation tests, and their results were registered with the COTS database. It was found that about 60% of 204 tested COTS parts in total can be used for low earth orbit satellites from the standpoint of radiation tolerance. 2) An irradiation facility for single event upset (SEU) testing was manufactured and installed to the cyclotron in Cyclotron and Radioisotope Center of Tohoku University as a joint study, and the irradiation tests were performed to investigate the relationship between proton SEU cross sections and heavy-ion SEU cross sections experimentally. A joint study with Kyushu University was also performed to find out semi-empirical formula to estimate proton SEU cross sections from heavy-ion SEU data. 3) Experimental equations for COTS memories were obtained to predict total ionized dose tolerances, cross sections and threshold LETs for SEU normalized by unit memory cell area. A study on applicability of these equations to other COTS parts was performed. 4) A survey on Micro Electro Mechanical Systems (MEMS) was performed, and it was found that RF-MEMS is almost usable for space applications. Radiation tolerance tests were also performed for RF-MEMS. 5) Studies on small satellites for quick-and-easy space verification tests of COTS parts and technologies were performed. Studies on business models with these small satellites were also performed. 6) A study on GaN devices, one of so-called wide band gap devices, was performed, and it was found that it is applicable to solid state power amplifiers (SSPA) with higher output power and efficiency. 7) A study on soldering for lead-free COTS parts was performed. Screening test conditions for COTS parts and pre-treatment methods for soldering were studied. 8) A cycle degradation test for an upgraded 12 Ah lithium ion battery was performed and the test results showed that it is applicable to space equipment. 9) The space verification test results of SERVIS-1, the COTS database and the ground evaluation test results had been evaluated and the initial version of the parts selection guideline was compiled. 10) The virtual integration system was applied for the development of verification satellites, and its effectiveness was confirmed quantitatively. The system was upgraded for higher response and simpler operation. The telemetry and command database was also renewed.

http://www.tech.nedo.go.jp/servlet/TopPageServlet?KENSAKU=HOKOKUSYO&kensakuHoho=Barcode_Kensaku&db=n&SERCHBARCODE=100010073

平成 18 年度成果報告書

「基盤技術研究促進事業(民間基盤技術研究支援制度)高度製造技術と革新的設計の融合による汎用小型衛星の研究開発」

年度 2006 開始 2006 終了 作成者 東大阪宇宙開発協同組合

<p>【構造系】各パネルの質量バランスを求め、最終コンフィギュレーションを決定した。また、パネル内の配置についても詳細化し、機械インターフェースの定義を開始した。パネル構体の設計を熱制御的な観点から見直し、板金加工による設計案を固めた。ロンチロック機構については、振動試験を行い、コンセプトの妥当性が確認された。展開機構については、EMの試作を行い、無重量試験などの環境試験を実施し、フライト品設計を概ね確定できた。ミッションアンテナについては、プロトタイプを製作し、展開試験を実施、設計の妥当性を確認した。【情報系】ベースユニットのBBM、EMを順次設計製作し、各種の環境試験、ソフトウェアデバッグ作業を経て、FMの設計に関する指針を得た。ベースユニットは、PCM2枚とCPU1によって構成される。PCMのCPUにH8Sを選択し、応答速度、通信性能とプラグイン性を満たすことを目標に作業を進めた。各種試験の結果、概ね問題の無いレベルで設計・製作できたことを確認した。CPUの研究開発に関しては、BBMの設計製作後、PCMの比較同期試験を行いながらアーキテクチャの検証・確認作業を実施した。現在はPCM2枚とBBMの結合エージング試験を行いながら最終的な機能検証を実施している。両コンポーネントはCDRにおいて概ね問題の無い評価を頂き、今後は更なる評価試験を行いFM品の設計にフィードバックを行なう予定。【電源系】パネル間の電力移送、複数の種類の太陽電池パネルを並列に制御する機能などの設計およびBBM試作と検証が終了した。EMが完成し、情報系との結合試験、衛星モードによる動作確認を開始した。【姿勢制御系】PETSATに必要な姿勢制御系を再検討し、各コンポーネントの基本設計を行った。また、姿勢制御系のコントローラを試作し、情報系との接続試験、試作品の動作確認を行った。シミュレータの製作を行い、SOHLA-2のおよその挙動が把握できるものが完成した。【CUBE系】CUBE系はEMを設計し、試作品を用いた試験でシステムとのインターフェースの詳細を決定した。来年度はEM機による他パネルとの結合試験を実施し、FM機製造へ移る。【ミッション系】SOHLA-1/BMWについては、フライトモデルの製作を行い、単体試験、受け入れ環境試験を行い、不具合の対策後システム引渡しに至った。SOHLA-2の広帯域干渉計については、フィルタおよび増幅器は、フライトモデルの製作を開始した。アンテナ部は、おおよその形状と搭載方法を確定し、試作、試験を行った。データ計測・演算部は、詳細仕様を確定し試作した。試験機による、衛星バス部との通信試験に成功した【推進系】今年度で一液式推進系の開発に目処が立ち、二液式推進系についても試験を行い開発の指針を得た。一液式の推進系についていろいろな触媒で過酸化水素を分解する試験を行い、目標性能を決定した。二液式についても、燃焼試験を行い、性能の見積もりを行った。推進系の制御を行うコントローラの設計・製造を行い、結合試験を行った。【通信系】装置仕様を検討し決定した。内容はPCM-PM送受信機及びBPSK送信装置、制御部を電気回路設計及び構造設計を行い製造まで進めた。変復調部をFPGAに実装するための開発を進めた。アンダーサンプリング方式によるBPSK復調器をFPGAで構成し、テレコマンド信号の復調が行えることを確認した。高速ダウンロードに使用する指向制御アンテナの開発を進め、アンテナエレメントの寸法を決定した。【地上局系】SOHLA-2の運用コマンド、テレメトリを定義した。また、回線設計を行い、要求されるC/N比をクリアして通信できるという結果が得られた。</p>	<p>The mass balance of each panel has been calculated and the configuration has been fixed. The location of each component in each panel has been also determined and the definition of mechanical interfaces has been examined. With regard to launch lock mechanism, some cases of vibrating test proved the validity of its design concept. The BBM and EM have been manufactured. By performing several environmental tests and debugging, some guidelines for designing FM have been acquired. A prototype to prove the validity of the design for power transfer system among the panels and a function to control several sort of solar cells in parallel has been manufactured and tested. Further consideration for attitude control system of PETSAT has been performed and basic design of each component has been terminated. A prototype of the controller to prove the validity of compatibility with Information Unit and software to simulate attitude of SOHLA-2 have been completed. EM design has finished and the detail of the interface between Information Unit has been decided. In the next fiscal year, combination tests with other panels will be performed. SOHLA-1/BMW: FM has been manufactured and handed over to system after unit test, acceptance environmental test and fixed some flaws. SOHLA-2: FM of the filter and amplifiers have been started. EM of the antennas has been manufactured and tested. The development of monopropellant propulsion has been almost completed and of bipropellant propulsion has been indicated. By testing with monopropellant propulsion under different kinds of catalyst, the target specifications have been determined. Specifications for each component have been fixed. The design for implementation of modem into FPGA has been proceeded. The design for directional antenna has been developed and the size of the elements has been determined. Operation commands and telemetries for SOHLA-2 have been defined. The result of the link budget calculation proved the feasibility of communication. An application for licenses has been performed with regulatory issues.</p>
--	---

http://www.tech.nedo.go.jp/servlet/TopPageServlet?KENSAKU=HOKOKUSYO&kensakuHoho=Barcode_Kensaku&db=n&SERCHBARCODE=100010062

平成 18 年度中間年報 「次世代衛星基盤技術開発(衛星搭載用リチウムイオンバッテリー要素技術開発)」

Title: Development of Fundamental Technologies for Next-Generation Spacecraft

(Technological Development of Lithium Ion Battery Elements for Spacecraft)

年度 2006 開始 2006 終了 作成者 財団法人無人宇宙実験システム研究開発機構

以下本編抜粋：1. 研究開発の内容及び成果等 1.1 衛星搭載用リチウムイオンバッテリー要素技術 [担当：財団法人無人宇宙実験システム研究開発機構] 1.1.1 リチウムイオンバッテリーの開発 (1) リチウムイオンバッテリーアセンブリ (LIBA) 寿命評価モデルリチウムイオンバッテリーアセンブリ寿命評価モデルの寿命試験を平成 17 年度から継続して実施した。(寿命サイクル試験、容量確認試験) (2) バッテリー制御モジュール (BCM) の開発・BCM 開発モデルの製作・試験平成 17 年度から製作開始された BCM 開発モデルの製作が完了し、性能確認試験を実施した。BCM (3) リチウムイオンバッテリーシステム開発モデル BCM 開発モデルの試験終了後 LIBA 開発モデルと組合せ、電気性能試験を実施した。その結果、充電・放電等の主要インタフェースに問題がないことを確認した。(4) リチウムイオンバッテリーシステム検証モデル LIBA と BCM 検証モデルの設計を実施した。

(FY2006- FY2007), FY2006 Annual Report:【1. Development of the Space Use Li-Ion Battery system (LIBS)】:LIBS development project has been started since JFY2003 for the Quasi-Zenith Satellite System (QZSS) and for the future advanced large space systems. The main objectives of the development are to realize the 175Ah capacity of Li-Ion battery cell and the energy density of 120Wh/kg battery assembly. Final target of the project is to manufacture and to complete the qualification test of the Li-Ion battery system with high capacity cells mentioned above with increased reliabilities, and to establish the specification, and the manufacturing and test processes. The results of the development work in the year of 2006 as the continuation from the year 2003 are as follows.(1) Development of the LIBS: The capacity of developed Li-Ion battery cell is 175Ah and is the largest cell for space application. The required life of the system is set to be 15 years with maximum DOD of 60%, and the energy density of Li-Ion Battery Assembly (LIBA) is requested to be more than 120Wh/kg. The energy density of the battery assembly is also largest for space application. Battery Control Module (BCM) is included in the development to realize the optimum operation of LIBA. The LIBS design including BCM has been completed based on the cells and LIBA manufacturing and test results.(2) Development of the BCM: BCM Engineering Model was developed and manufactured. The development test was completed successfully.(3) Life Test of the Li-Ion 175Ah cell and LIBA: The Life test of the cells and LIBA have been continued since 2005 to evaluate a life of 15 years. 【2. Researches for application of the Li-Ion battery cell to other industry fields】: Survey works of the Li-Ion battery cell have been conducted for the study of the application for other industry fields including the airplane and automobile.【3. Researches for the cell basic technology】: To improve the reliability, lifetime, and safety of conventional Lithium-Ion battery cells, fundamental data, which are the important guideline to develop highly functional solid-state battery system, have been obtained.【4. The research and survey of LIBS and cells】: Survey works for the technical trend and the market of the Li-Ion battery have been conducted for the study of the application for the large satellite system including the QZSS

<http://www.tech.nedo.go.jp/WWWROOT/HOKOKUSYO/DOWNLOAD/1000100704.pdf>

2007 年 8 月 10 日 人民網日本語版

河北省石家庄に消火器ロボットが登場

河北省初の消防消火器ロボットが 8 日午前、同省の石家庄市に登場。ロボットは高温、高放射能、倒壊しやすい建物など一般車両や

人が近寄れない場所で利用でき、消火、冷却および化学浄化等が行なえる。「河北青年報」が伝えた。(編集 AY)



http://j.people.com.cn/2007/08/10/jp20070810_75096.html

2007 年 8 月 10 日 人民網日本語版

「ロボットバー」合肥に登場

安徽省合肥市でロボット教育を普及し、青少年の創造力と実践力を養うことを目的とした「ロボットバー」が登場。学生達は「ロボットバー」の専門家指導のもとロボットの原理、コンピュータプログラミング、ロボットの

組立を学び、最終的にロボットを操縦することを目標としており、現地の若者に人気を博している。(編集 YT)



http://j.people.com.cn/2007/08/10/jp20070810_75074.html

2007年8月9日 人民網日本語版

ボーイング 747 機部品、中国企業が生産受注

中国航空工業第一集団 (AVIC) 傘下の成都飛機工業集団公司是 8 日、米のヴォート航空機工業と北京で、「ボーイング 747-8」機の水平尾翼部分および部品生産のアウトソーシング契約に調印した。契約

http://j.people.com.cn/2007/08/09/jp20070809_75042.html

総額は約 3 億ドル。中国航空工業が受注したアウトソーシング契約としては、過去最高の契約額。(編集 KS)

2007年8月9日 人民網日本語版

米科学者、最大の惑星を発見 直径は地球の 20 倍

米ローウェル天文台は、観測された中で最大となる惑星を発見したと発表。この惑星直径は地球の 20 倍で、太陽系最大の木星の 1.7 倍。AP 通信によれば、この惑星は TrES-4 と名づけられ、地球から約 1400 光年離れており、「ヘルクレス座」のある銀河系に属し、ほとんどが水素

で構成されており、表面温度は 1260 度に達する。TrES-4 はその属する恒星の周りを回っているときに発見された。写真は TrES-4 の予想図、右(左?)側にあるのが属する恒星。(編集 YT)



http://j.people.com.cn/2007/08/09/jp20070809_75014.html

2007年8月8日 人民網日本語版

中国、大型機のエンジンシミュレーション技術を獲得

大型航空機開発研究に技術的な支えとなる「ターボファンエンジン・シミュレータ試験技術」がこのほど、中国空気動力研究センターで完成。同センター担当者はこの技術について、大型機開発に向け克服が急がれていた地上シミュレータ試験技術と説明する。同技術を獲得すれば、

http://j.people.com.cn/2007/08/08/jp20070808_74953.html

航空機の特長や推力の変化がエンジン駆動状態に与える影響を、正確に試験できるという。中国は米と EU に続いて、3 番目に同試験技術を獲得した。(編集 ID)

Aerospace Daily & Defense Report Aug 13, 2007 **スペースレーダ** GAO on Space Radar Source: Space Radar Integrated Program Office

挑戦は残っている： 大きなリスクの低減が必要とされる

Challenges Remain: Key Risks Need to be Mitigated

Program has rated 7 risks as high, including risks related to spectrum, software, and integration with space radar users. Program office acknowledges that some of these risks can not be fully mitigated prior to KDP-B.

Likelihood of Occurrence	Near certainty					1
	Highly likely				1	4
	Possible					1
	Unlikely					
	Remote					
			Low	Medium-low	Medium	Medium-high
Severity of Consequence						

Legend: Low risk Medium Risk High risk

Aerospace Daily & Defense Report Aug 13, 2007

ATK は NASA と Ares I/V 第一段を製造・試験する\$1.8B の契約にサイン

ATK inks \$1.8B NASA contract to build and test Ares I/V first stage

ARES AWARD: Alliant Techsystems (ATK) will get \$1.8 billion from NASA to develop and test the solid-fuel first stage for the Ares I and Ares V launch ...

F-35 の払戻し過大請求は LM ロッキードマーチンの 2007-08 の経営計画を危うくすることはなかろう、アナリストは述べる

F-35 overcharge rebate unlikely to jeopardize LM's 2007-08 estimates, analysts say

OVERPAYMENT: What does it take to hurt Lockheed Martin's bottom line? Apparently more than the \$265 million - plus another possible \$30 million in fines - that ...

DHS 米国土安全省は国境セキュリティ向けにさらに4機の UAV を計画中

DHS planning for four more UAVs for border security

BORDER UAVs: The Bush administration plans to acquire four more unmanned aerial vehicles to improve border security by 2009. Homeland Security Secretary Michael Chertoff says three more ...

DARPA は GIG グローバル・インフォメーション・グリッドをモニタする方法を探している

DARPA looking for ways to monitor the GIG

MONITORING THE GIG: Looking ahead to the maintenance and protection of the future Global Information Grid (GIG), the Defense Advanced Research Projects Agency (DARPA) is looking for ...

USAF は UAS 無人機システムが予算の 10%節約になると述べる

USAF says it would save 10 percent as UAS executive agent

UAV SAVINGS: The U.S. Air Force says it can save as much as 10 percent of the budding unmanned aerial systems (UAS) budget if it becomes the ...

NASA は 2010 年以降のスペース・ステーションの再補給に関する RFI 情報提供要求を発行

NASA issues RFI on post-2010 space station resupply

ISS RESUPPLY: U.S. industry has until Sept. 7 to make suggestions to NASA's spaceflight operators as they plan agency strategy for purchasing International Space Station resupply services ...

スペインは\$780Mの要求をMK-7 AEGIS ウェポン・システムに関して行なう

Spain makes potential \$780 million request for two MK-7 AEGIS weapons systems

SPANISH AEGIS: The U.S. is eyeing the possible sale of two MK-7 Aegis weapon systems to Spain, along with associated equipment and services. The total value of ...

B-52Hは新しく承認されたブレンド燃料で飛行予定

B-52H to fly with newly approved fuel blend

NEW FUEL: The B-52H can now fly with a new 50-50 blend of JP-8 and domestically produced synthetic kerosene fuel that was approved by Air Force Secretary ...

NASA Stennis 宇宙センタ長の Gilbrech が 10 月に Horowitz に替わって ESMD 宇宙探査機システムミッション本部の長に就任予定

Stennis director Gilbrech to replace Horowitz as ESMD chief

HOROWITZ'S REPLACEMENT: Richard J. Gilbrech, director of NASA's Stennis Space Center, will take over in October as associate administrator for the Exploration Systems Mission Directorate, responsible for ...

STS-118 クルーはステーション・アセンブリと再補給に準備完了

STS-118 crew ready for station assembly, resupply

The STS-118 astronauts on the upgraded orbiter Endeavour will have a busy weekend of extravehicular activity (EVA), cargo transfer and checkout of the new Station-to-Shuttle Power Transfer ...

2機の Proxy Aviation の UAV が米空軍のデモフライトの間に連携

Two Proxy Aviation UAVs cooperate during USAF flight demo

Proxy Aviation Systems Inc., a start-up company from Germantown, Md., has demonstrated to the U.S. Air Force how its unmanned aerial vehicles (UAVs) can fly autonomously in ...

米海軍の E-2D は初の3フライトを完了

Navy E-2D completes first three flights

The U.S. Navy's E-2D Hawkeye has completed its first two test flights at Northrop Grumman facilities in St. Augustine, Fla., kicking off a projected 350-flight test program. ...

シャトル Endeavour は主要な改修でうまく機能している

Endeavour performing well with major mods

The upgraded space shuttle orbiter Endeavour is turning in a stellar performance in orbit, with only a small transducer malfunction so far – a significant achievement given ...

米陸軍の調達官は\$20BのITの契約に関して規則を破ったとIG 監査レポートは述べる

Army acquisition officers broke regs for \$20B IT contract, IG report says

The U.S. Army inappropriately consolidated \$20 billion worth of work for an information technology (IT) contract, smothering opportunity for small businesses to compete, a recent DOD Inspector ...

レイセオンは F-15 のデータリンク機器に関する\$75M の契約を獲得

Raytheon wins \$75 million contract for F-15 data link equipment

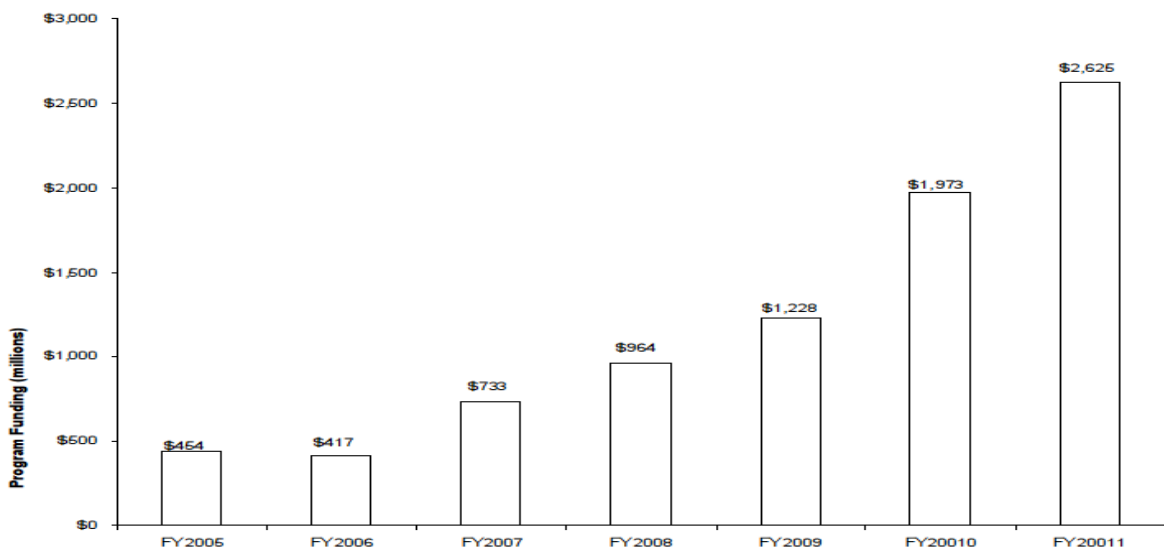
RAYTHEON MODS: Raytheon has received a \$75 million indefinite delivery/indefinite quantity (IDIQ) contract to modify

data link equipment on the Boeing F-15 fighter aircraft. The weapons data ...

Aerospace Daily & Defense Report Aug 10, 2007 GAO on the Transformational Satellite Communications System (TSAT) Cost, Funding & Schedule

TSAT の 2005-2011 の年度予算プロフィール

TSAT Annual Funding Profile For Fiscal Years 2005 to 2011



プログラムはギャップを埋めようと奮闘した: 成熟技術

Program Has Strived to Close Gaps: Maturing Technology

TRL = Technology Readiness Level

Critical Technologies	TRL	Purpose
Communication-on-the move antenna (COTM)	6	Enables high capacity data communications to small terminals (e.g., one foot antennas).
Packet Processing Payload	6	Converts incoming radio signals into digital data for delivery to the correct Internet-like address..
Information Assurance – Transmission Security	6	Protects transmissions from jamming and interception.
Information Assurance – Space High Assurance Internet Protocol Encryptor (HAIPE)	6	Facilitates security between network nodes.
Bandwidth Efficient Modulation (XDR+)	5	Allows higher capacity protected communications.
Dynamic Bandwidth Resource Allocation (DBRA)	5	Adjusts on-orbit resource allocations more efficiently, which will allow more users to be serviced simultaneously.
Single-access Laser Communications	5	Provides a high bandwidth medium to transmit huge amounts of data between satellites.

Aerospace Daily & Defense Report Aug 10, 2007

ロッキードは JSF 契約金の中の\$265M を返済する

Lockheed to repay \$265M in JSF award fees

Lockheed Martin is paying back the Pentagon about five years' worth of F-35 Joint Strike Fighter (JSF) award fees totaling

\$265 million the company erroneously charged because ...

シャトル Endeavour クルーは 8 月 8 日の打上げ後、熱防護を調べている

Endeavour crew inspecting heat shields after Aug. 8 launch

KENNEDY SPACE CENTER – The U.S./Canadian crew of STS-118 performed inspections of their re-entry protection

systems Aug. 9 following a flawless countdown and launch Aug. 8 that ...

DARPA は Urban Challenge ロボットレースの複数の優勝候補者を公表

DARPA announces semi-finalists for Urban Challenge robot race

The Defense Advanced Research Projects Agency (DARPA) has chosen the 36 semi-finalists that will compete in a qualification

event this October as a final prelude to the ...

Intelsat の買収のために金融が寄り集まる

Financing coming together for Intelsat purchase

Intelsat Holdings says BC Partners has lined up \$1.1 billion in cash and \$5.1 billion in debt commitments to acquire a majority

stake in the Bermuda-based telecom ...

攻撃偵察 VTUAV 垂直離着陸機が国際的関心を呼ぶ

Fire Scout VTUAV drawing international interest

The Northrop Grumman Fire Scout vertical takeoff and landing unmanned aerial vehicle (VTUAV) is drawing attention from

foreign governments across Europe and Asia, according to a company ...

Foster-Miller は\$51.4M にのぼるロボットの注文を受けた

Foster-Miller receives \$51.5 million worth of robot orders

Foster-Miller has received \$51.5 million of new orders for over 250 Talon robots and replacement parts from the Naval Air

Warfare Training Systems Division's Robotic Systems Joint ...

ロラルは 2007 年前半期で売上げの増加を報告

Loral reports revenue increase for first half of 2007

LORAL RESULTS: Loral Space & Communications reported a 22 percent increase in revenues to \$365 million in the first half of

2007 as its satellite manufacturing and ...

ボーイングは日本の AWACS レーダ・システム能力向上で\$110M を得る

Boeing gets \$110M for Japan AWACS Radar System Improvement

JAPANESE AWACS: The U.S. Air Force is awarding Boeing a \$110.2 million contract modification for a software option for the

Japan E-767 AWACS Radar System Improvement Program ...

対クラスター爆弾の法制化は議会で少しずつ進む

Anti-cluster bomb legislation inches along on Capitol Hill

Democratic efforts on Capitol Hill to scale back cluster bomb use continue to inch along with related bills in the House and

Senate picking up a few ...

SES は 2007 年の概況をさらにプラスに

SES raises its 2007 outlook

SES is raising its outlook for full-year 2007 revenues by 1.7 percent to 1.58–1.61 billion euros and earnings before interest,

taxes, depreciation and amortization (EBITDA) 2.1 percent ...

UCAS 実証機初号機はいくつかのステルス技術を落とす

First UCAS demonstrators omitting some stealth technology

Warning that the two upcoming X-47B Unmanned Combat Air System (UCAS-D) demonstrators are not an operational design,

Northrop Grumman and Navy officials say that much of the ...

米空軍は Predator の能力向上 GA 社と\$7M の契約

USAF awards GA \$7M for pre-production, upgraded Predators

PREDATOR UPGRADE: The U.S. Air Force is awarding General Atomics a \$7.3 million cost-plus-fixed-fee contract for two

“pre-production” YMQ-1C Block X unmanned aircraft. The contracted work should ...

ロッキード TPS-77 レーダはタイの防空を完成

Lockheed TPS-77 radar completes Thai air defenses

THAI RADAR: Lockheed Martin said Aug. 9 that it will provide a TPS-77 long-range air surveillance radar to the Royal Thai Air

Force, finalizing a multiphase national ...

Aerospace Daily & Defense Report Aug 9, 2007 **スペースレーダ** GAO on Space Radar

プログラム開始時点で成熟していると期待される技術

Technology Expected to be Mature at Program Start

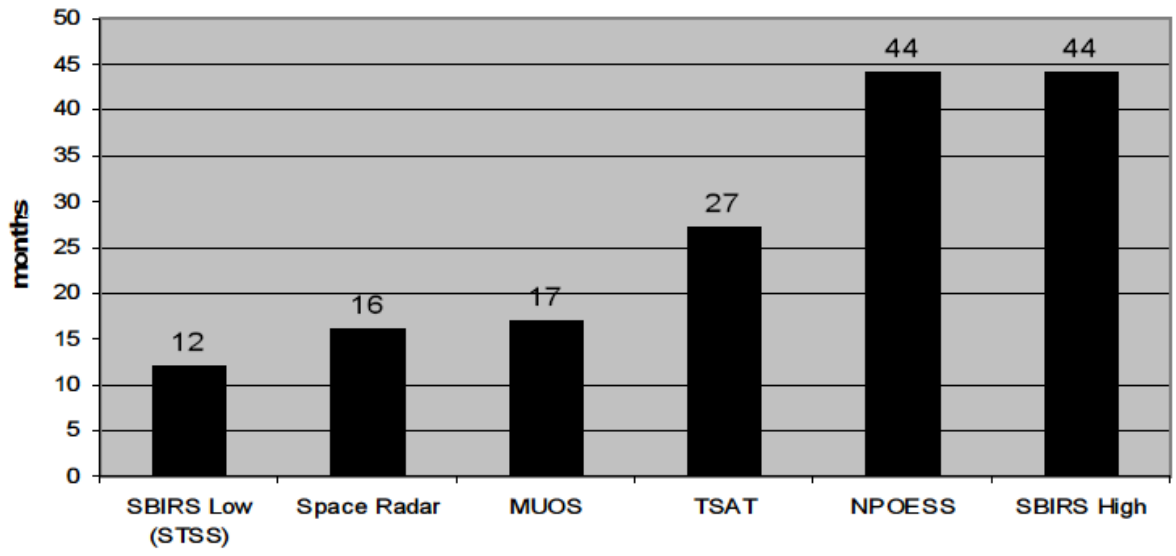
Technology	Current TRL	Work to Be Done	Expected TRL At KDP-B
Analog to digital converter	TRL 3	Develop space-qualified advanced analog to digital converter.	TRL 5 [*]
Integrated radio frequency assembly	TRL 4	Integration and demonstration of radar tiles and panels (including panel-mounted electronics), radar electronic unit, and front-end processor. Demonstrate an integrated subscale electronically scanned array antenna over simulated expected environments.	TRL 6
Low earth orbit laser communication terminal	TRL 4	Laser terminal to be demonstrated in low earth orbit simulated environment.	TRL 6
Surface moving target indication processing algorithms	TRL 4	Establish and demonstrate algorithm test beds; expand data repository with relevant synthetic/collected data; validate performance against stressing, full-scale datasets.	TRL 6
Open ocean surveillance processing algorithms	TRL 3	Performance of open ocean surveillance processing algorithms to be demonstrated using test bed aircraft, synthetic, and other data to validate performance predictions.	TRL 6

[*]Note: The program office is coordinating plans for demonstrating the maturity of the advanced analog to digital converter. It has established an initial test program but needs to resolve whether or not testing is

required at a higher level of assembly to meet the standard for demonstrating technology maturity at KDP-B.

CDR から PDR までの期間(ヶ月), 宇宙プログラムの比較

Comparison of Space Programs from Preliminary Design Review (PDR) to Critical Design Review (CDR)

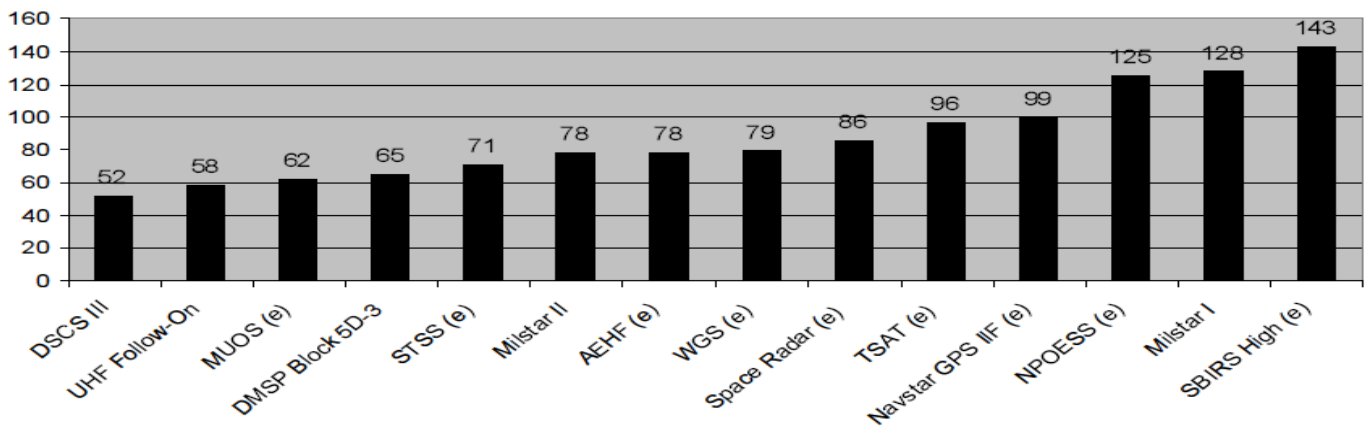


Source: GAO analysis of DOD data

Comparison of Months Between Program Milestones

KDP-B から最初の打上げまでの期間(ヶ月)

Space program schedules from KDP-B to Initial Launch Capability (months)



Note: All programs with (e) denotation used current estimated dates for Initial Launch Capability. Source: GAO analysis of DOD data

LEGEND

- DSCS – Defense Satellite Communications System
- UHF – Ultra High Frequency
- MUOS – Mobile User Objective System
- DMSP – Defense Meteorological Satellites Program
- STSS – Space Tracking and Surveillance System
- AEHF – Advanced Extremely High Frequency
- WGS – Wideband Global Satellite Communications
- TSAT – Transformation Satellite Communications System
- GPS – Global Positioning System
- NPOESS – National Polarorbiting Operational Environmental Satellite System
- SBIRS – Space Based Infrared System

Aerospace Daily & Defense Report Aug 9, 2007

ノースロップの契約獲得に続いて UCAS の運用の詳細が現れてくる

Details about UCAS operations emerge following Northrop win

Details about stealth, unmanned concepts of operation and new missions like air-to-air refueling are emerging following the award of the U.S. Navy's Unmanned Combat Air System Demonstration . . .

ユーロファイタはインドの戦闘機プログラムに対してパッケージを討議する

Eurofighter discusses package for India's fighter program

Eurofighter says it will offer India its standard Typhoon at the time the order is made if it wins the competition to build 126

Medium Multi-Role Combat ...

UAV SAA(sense-and-avoid)のATD 先進技術実証に第3段階が加えられた

Third phase added to ATD of UAV sense-and-avoid

Ohio-based contractor Defense Research Associates Inc.'s (DRA) vice president of engineering, Jim Utt, says a third phase

in the Advanced Technology Demonstration (ATD) of sense-and-avoid (SAA) capability ...

UAVの運用承認はFAAの未処理として残る

UAV ops approvals by FAA backlogged

The FAA has approved 36 Certificates of Authorization (COAs) for unmanned air vehicle (UAV) operations so far this year and

has 29 more in the cue with ...

ウェブサイトは対話型のスペースシャトル画像が特徴に

Web site features interactive images of space shuttle

SHUTTLE VIEWS: NASA and Microsoft have posted interactive three-dimensional photographic displays on the Internet that let

users fly around shuttles Endeavour and Atlantis at Kennedy Space Center ...

宇宙のソーラパワーは亀裂で落ちたと専門家は述べる

Space solar power has 'fallen through the cracks,' experts say

Economically viable technology for space solar power exists today and could be developed in fairly short order if only it could

find advocates in Congress and the ...

マルチミッション通信市場は\$13Bに達する動向とForecast Int'lは述べる

Multimission communications market to reach \$13B, Forecast Int'l says

COMMUNICATIONS FORECAST: Forecast International projects that defense departments worldwide will spend \$12.54 billion on 26 different multimission communications development,

acquisition or maintenance programs - 611,513 individual product ...

ESAのマーズエクスプレスはNASAのPhoenixの着陸を追跡予定

ESA's Mars Express to track landing of NASA's Phoenix

TRACKING PHOENIX: The European Space Agency's (ESA) Mars Express will track the descent and landing phase of NASA's

Phoenix lander (DAILY, Aug. 7) next year as part ...

ロッキードマーチンは日本向けのAegis弾道ミサイル防衛に対して\$33Mを受取る

Lockheed Martin receives \$33 million for Aegis ballistic missile defense for Japanese

JAPANESE AEGIS: Lockheed Martin has won a \$33 million contract to provide the Japanese navy with Aegis Ballistic

Missile Defense (BMD) capabilities on their destroyer, JDS Chokai ...



Description: The Space Radar system is envisioned as a persistent, global, situational awareness system, part of a horizontally integrated Department-wide and national system of systems. Northrop Grumman, Redondo Beach, CA and Lockheed Martin Denver, CO are the Concept Development contractors. The first satellite launch of the system is currently planned to

occur in FY 2016.

Mission: The Space Radar is a new system of satellites that will provide persistent all weather worldwide surveillance.

FY 2008 Program: The FY 2008 budget provides funding for continued system development and risk reduction efforts.

Program Acquisition Costs (\$ Millions)

	FY2006	FY2007	FY2008
Procurement	- - -	- - -	Classified funding
RDT&E	98.1	185.4	Classified funding
TOTAL	98.1	185.4	Classified funding

Source: Department of Defense

STUAS/Tier II の RFP は 2008 年にずれ込む

STUAS/Tier II RFP slips to 2008

The joint U.S. Navy-Marine Corps STUAS/Tier II request for proposals (RFP) has slipped into June/July 2008, Rick Ludwig,

director of business development for unmanned systems at Northrop ...

巡航ミサイル本土防衛は HAC 下院軍事委員会の関心を引く

Homeland cruise missile defense gets attention from HAC

The House Appropriations Committee (HAC) is concerned about the continued lack of an integrated defense of the homeland

against cruise missiles, other low-altitude aircraft and short-range missile ...

ロシアは Kh-102 巡航ミサイルの進展を報告

Russians report progress on Kh-102 cruise missile

The Russian air force finally appears to be making significant progress on its next-generation air-launched strategic cruise missile. ...

MEADS(中級拡張防空システム)の PDR 基本設計審査がはじまる

MEADS begins preliminary design review

The internationally funded Medium Extended Air Defense System

(MEADS) recently began its System Preliminary Design Review

(PDR), kicking off four months of reviews leading to a | Summary ...

インドと米国は非軍事核協力協定の文章を発表

India, U.S. release text of civil nuclear cooperation pact

Following lengthy negotiations, a 40-year agreement on India-U.S. | in years. ...
civil nuclear cooperation is being called the biggest breakthrough

Ames 研究センタはシャトルの検査の新しい方法を導入

Ames introduces new method of shuttle tile inspection

A new space shuttle tile inspection method devised by Ames | information to a computer database is replacing manual
Research Center that uses wireless scanners that relay | inspection, ...

CECOM は DataPath 社と陸軍予備役通信システムの契約を結ぶ

CECOM awards Army National Guard communications system to DataPath

CECOM AWARD: The U.S. Army's Communications-Electronics | DataPath Inc. a \$16.7 million contract to establish a nationwide
Command (CECOM) in Fort Monmouth, N.J., has awarded | Joint Incident Site ...

Honeywell の 16 ポンドの MAV はイラクで IED 即席/手製爆弾を探索

Honeywell's 16-pound MAV on hunt for IEDs in Iraq

Under a recently awarded \$7.5 million U.S. Navy contract, | U.S. multiservice Explosive Ordnance Disposal (EOD) ...
Honeywell's micro air vehicle (MAV) is being used in Iraq by the

イリジウムは Iridium NEXT 衛星コンステレーションに関するパートナーを発表

Iridium announces partners on Iridium NEXT satellite constellation

IRIDIUM NEXT: Iridium has invited seven new business partners | constellation--Avaliant, Boeing, General Dynamics, KinetX,
to work on development and design of its new NEXT satellite | MicroSat Systems, ...

[Aerospace Daily & Defense Report](#) Aug 7, 2007

当初、Griffin 長官は宇宙飛行士のアルコール乱用の証拠を何も見つけなかった

On first blush, Griffin finds no evidence of astronaut alcohol abuse

Administrator Michael Griffin says NASA is taking allegations of | after an outside medical panel briefed him on the ...
preflight alcohol abuse by astronauts seriously, but three weeks

Phoenix は 8 月 4 日の打上げに続いてチェックアウトを実施中

Phoenix undergoing checkout following Aug. 4 launch

NASA's Phoenix Mars lander is undergoing initial checkout | United Launch Alliance Boeing Delta II that fired ...
following its predawn launch from Cape Canaveral Aug. 4 on a

米空軍は BATMAV マイクロ UAV を受領

U.S. Air Force takes delivery of BATMAV micro UAV

The U.S. Air Force recently took delivery of its first Battlefield | Air Tactical Micro Air Vehicle (BATMAV) micro unmanned

aircraft system from AeroVironment, Inc. as part of ...

国防総省はなおボーイングの UCAS 技術に関心をもっている

Pentagon still interested in Boeing's UCAS technology

Although the U.S. Navy picked Northrop Grumman's entry in the unmanned combat air systems demonstration (UCAS-D)

competition over Boeing's X-45, Pentagon officials say they could still use ...

E-2D アドバンスド・ホークアイ実証機は初飛行を完了

E-2D Advanced Hawkeye demonstrator completes first flight

Delta One, the first E-2D Advanced Hawkeye development aircraft, completed its first flight at St. Augustine, Fla., on Aug. 3. ...

CNES はハイブリッド・ナノサテライト・ブースタの試験打上げを実施

CNES conducts test launch of hybrid nanosatellite booster

HYBRID BOOSTER: French space agency CNES has performed the first launch of an experimental hybrid booster that could

become the basis for a future nanosatellite launch system. ...

独の SARLupe 衛星2号機が運用に入る

Germany's second SARLupe satellite enters service

SECOND SARLUPE: Germany's second SARLupe radar recon satellite has entered service, a month after it was launched atop

a Cosmos 3M rocket from Plesetsk, Russia. Together with ...

議員は NOAA にハリケーン・センタ長を元の職位に戻すよう催促

Lawmakers urge NOAA to return hurricane center director to previous position

MOVING PROENZA: House Science subcommittee chairmen Brad Miller (D-N.C.) and Nick Lampson (D-Texas) have written

National Oceanic and Atmospheric Administrator (NOAA) Conrad Lautenbacher requesting that if controversial ...

NOAA は UAV を天候、気候の研究に利用拡大する

NOAA ramping up use of UAVs for weather, climate research

Advocates for unmanned aerial vehicle (UAV) research at the National Oceanic and Atmospheric Administration (NOAA) hope

that the modest request of \$3.3 million for UAV activity at ...

米空軍は先進衝突防止システムを配備する準備中

U.S. Air Force prepares to deploy advanced collision-avoidance system

COLLISION AVOIDANCE: The U.S. Air Force will integrate its new auto-ground collision avoidance system (Auto-GCAS) on

the F-16 Fighting Falcon, F-22 Raptor and F-35 Lightning II. In ...

米空軍は KC-X 給油機の置換えの業者選定を 12 月に遅らせる

USAF delays downselect for KC-X tanker replacement to December

TANKER HOLDUP: The U.S. Air Force has delayed a decision to select a contractor for its future refueling tanker to as late as

December. Earlier plans called ...

フォトレポート:まもなく発射の Endeavour、MSとNASA が 3D 画像を公開

<http://japan.cnet.com/svc/nlt2?id=20354292>

2007 年 8 月 7 日 8:03 【CNET Japan 2007 年 08 月 07 日】

携帯各社 総務省研究会の端末と通信料の分離案 部分反論も事実上容認

<http://japan.cnet.com/svc/nlt2?id=20354191>

下院委員会、ヤフーを調査へ—中国人ジャーナリスト逮捕事件

<http://japan.cnet.com/svc/nlt2?id=20354214>

2007 年 8 月 6 日 8:12 【CNET Japan 2007 年 08 月 06 日】

KDDI、NTT を圧倒 収益力格差広がる—4-6 月期決算

<http://japan.cnet.com/svc/nlt2?id=20354080>

富士通、独シーメンスと手のひら静脈認証ビジネスで協業

<http://japan.cnet.com/svc/nlt2?id=20354056>

2007 年 8 月 3 日 7:37 【CNET Japan 2007 年 08 月 03 日】

YouTube、日本版の事業戦略を発表—ミクシィや吉本らもパートナーに

<http://japan.cnet.com/svc/nlt2?id=20354002>

タバコと同じくらい有害—レーザープリンタに健康上のリスク

<http://japan.cnet.com/svc/nlt2?id=20353976>

NASA システム侵入事件: 貴族院への上訴が認められる可能性

<http://japan.cnet.com/svc/nlt2?id=20353996>

2007/8/13 16:38 Technobahn

スペースシャトルの耐熱パネル損傷、地上テストで影響度を検証へ

スペースシャトル「エンデバー」の下部の耐熱パネルが打上げ時に外部燃料タンクから剥離した氷の塊によって損傷を受けた問題に関連して NASA は 12 日、今週中にも地上で同じ耐熱パネルを使った再突入時の再現テストを実施した上で、影響度の試験を行う方針を固めた。再現テストの結果、安全性に問題があると判った場合には宇宙飛行士が船外活動を行って耐熱パネルの補修を行うこととなる。しかし、今回、傷が見つかった箇所はスペースシャトルの下部にあたり、スペースシャトルに装備されたロボット・ハンドなどでは接近し難い場所ということもあり、船外活動による修理ミッションを実施するにはかなりの危険性も生じる。このため、NASA では慎重に検討を進めた上で修理を実施するのか、放置するのかを決定する方針。スペースシャトル「エンデバー」に生じた耐熱パネル損傷は、3.5x2 インチ (8.89x5.08cm) 大のもの。打上げ時に落下してきた氷の塊が直撃したことで、耐熱パネルの表面部分が欠けたことにより生じたものと見られている。この部分の耐熱パネルは厚さは 1 インチ (2.54cm) あり、耐熱パネルの裏側にはシャトルの金属の構造部分に接している。NASA では、再突入時にはこの部

分の温度は華氏 2300 度 (摂氏 1260 度) 以上に達すると述べており、耐熱パネルに生じた傷に程度によっては、この部分から熱がスペースシャトルの構造部分に侵入し、構造部分の破壊につながる恐れもある。実際、2003 年 2 月に地球に再突入時に崩壊したスペースシャトル・シャトル「コロンビア」の事故原因は、今回とまったく同じ、外部燃料タンクから落ちてきた氷の塊がシャトル・シャトル本体の耐熱パネルを損傷したことによるものであることもあり、NASA では慎重に調査を進めている。画像は NASA が公開したスペースシャトル「エンデバー」下部のパネル損傷箇所のクローズアップ写真 (画像提供: NASA)



2007/8/13 15:20 Technobahn

DARPA アーバンチャレンジ、準決勝進出 36 チームが決定

市街地を模したコースを完全自律型の無人自動車で行き、完走タイムを競う DARPA Urban Challenge の準決勝進出チームの発表が 9 日行われ、MIT など合計 36 チームが準決勝に進出することに決定した。準決勝は米カリフォルニア州 Victorville にある軍事演習施設で今年の 11 月に実施予定となっており、今回、選ばれた、大学や企業などの合計 36 チームが、このコースでの完走を目指すこととなる。11 月に開催予定の決勝戦で優勝したチームには 200 万ドル(約 2 億 4000 万円)、準優勝者には 100 万ドル(約 1 億 2000 万円)、3 位には 5000 万ドル(約 6000 万円)の賞金が授与される予定。競技では的確に道路の境界線を認識しながら、予め定められたコースを安全に走行することができるが、ポイントとなる。これらの自律型運転システムは、軍

<http://www.technobahn.com/cgi-bin/news/read2?f=200708131520&page=2>

用の輸送用車両への応用を目的に現在、開発が進められているが、2050 年頃までには一般乗用車にもこうしたシステムが搭載され、運転手は普段はハンドルを触る必要がなくなる時代が来ることなども期待されている。画像は MIT がエントリーした車(画像提供:MIT)



2007/8/11 15:41 Technobahn

スペースシャトル「エンデバー」、耐熱パネルの剥離箇所が見つかる

NASA は 10 日、国際宇宙ステーション(ISS)から行われた高解像度カメラによる撮影調査によりスペースシャトル「エンデバー」の下部に 3 インチ(約 7.62 センチ)四方の耐熱パネルの剥離箇所が見つかったことを発表。打上げを記録したレーダ・イメージによる解析では、打上げ約 58 秒後に、外部燃料タンクから剥離した氷の塊が衝突したことで耐熱パネルが剥離したものと見られている。スペースシャトル・シャトル「コロンビア」は 2003 年 2 月、打上げ時に外部燃料タンクから剥離した氷の塊が衝突したことで耐熱パネルが剥離し、それが原因となって地球の大気圏に再突入時に空中分解を起こすという大事故を起こしていた。会

見を行った NASA の担当者は「今のところ、この剥離箇所がどの位、深刻なものかは判らない」と述べた上で「状況によっては宇宙飛行士が船外活動を行って剥離箇所を塞がなければならない」との見解を示した。現在、NASA では、この耐熱パネルの剥離箇所の深刻度を調査するために、剥離した箇所の正確な大きさや深さについて詳細な調査を行っている。画像は 10 日に NASA が公開したスペースシャトル「エンデバー」の下部に生じた耐熱パネルの剥離箇所のクローズアップ写真(画像提供:NASA)



<http://www.technobahn.com/cgi-bin/news/read2?f=200708111541&page=2>

2007/8/10 11:07 Technobahn

ロッキードマーチン社、F-35 の開発で米国政府に 2 億 6500 万ドルを過大請求

ロッキード・マーチン社は 9 日、F-35「ライトニング II」統合攻撃戦闘機の開発に関連して開発費用を誤って米国政府に対して 2 億 6500 万ドル(約 300 億円)過大に請求を行っていたことを発表。過大請求は同

社とノースロップ・グラマン社および BAE システムズ社との間での請求処理の処理上のミスが生じていたことによるもので、ロッキード・マーチン社では過大請求分に関しては利子を付けた上で政府に返却すると述べ

ている。過大請求分に対して適用される利子率に関しては、現在、政府と交渉中だが、利子率が決まり次第、数日中にも返金処理が行われる予定。F-35の開発予算総額は2750億ドル(約33兆円)にも及ぶ。単体の航空機の開発予算としては過去最高規模のものとなる。



<http://www.technobahn.com/cgi-bin/news/read2?f=200708101107>

2007/8/9 11:26 Technobahn

米空軍、F-22「ラプター」60機の追加発注を決定

米空軍は8日、2011年12月までにF-22「ラプター」60機を追加生産を行うことで、ロッキード・マーチン社と複数年契約を結んだことを発表した。

米空軍では複数年契約を結んだことにより、1年に20機ずつ購入する単年度契約に比べて4億1100万ドル(約490億円)の費用が節約することが可能になると説明を行っている。調達担当のSue C. Payton空軍副長官は同日付けで発表したプレスリリースで「複数年契約を通してF-22を取得することは潜在的に、米国の納税者の利益に寄与する」と述べて、今回の契約の意義を強調している。F-22は

<http://www.technobahn.com/cgi-bin/news/read2?f=200708091126>

2005年12月に実戦配備された米空軍主力戦闘機。これまでに合計91機が米国内の各空軍基地に配備されている。

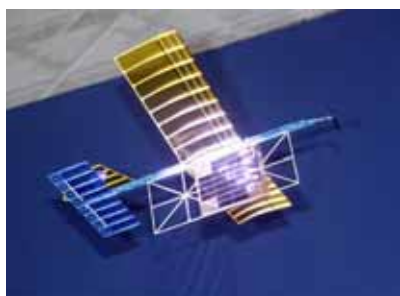


2007/8/10 11:01 Technobahn

レーザービームでエネルギー補給を受けて飛行する飛行機

この飛行機には太陽電池パネルに似た特殊な集光発電パネルが搭載されており、このパネルにレーザービームを照射(画像下)することによってパネルが発電。飛行機はレーザービームからのエネルギー補給でいつまでの飛行を行うことができると説明している。NASAではこの方法が実用化された場合、航空機は半永久的に飛び続けることが可能となる他、離陸時に膨大な燃料を搭載する必要もなくなるため、燃費効率も大幅に向上するなど、航空機の歴史を塗り替えるような画期的な発

明になるとも述べている。航空機を半永久的に飛ばし続けることに何の利点があるのか、普通の感覚では理解は難しいかもしれない。しかし、航空機が半永久的に飛び続けることができるようになった場合、高額な費用を要する通信衛星の代わりにこうした航空機を使うことが可能となる。この実験モデル、今のところは見たとおりの模型飛行機(翼幅は約1.5m、重さは312グラム)のレベルでしかないが、面白い研究であることは間違いなさそうだ。(画像提供:NASA)



写真(画像上)はNASAのマーシャル・フライト・センタが研究中のレーザービームを使ってエネルギー補給を行うための実験モデル。

<http://www.technobahn.com/cgi-bin/news/read2?f=200708101101&page=2>

2007/8/8 12:05 Technobahn

エルギアの社長が解任、新型宇宙船「クリッパー」の開発を巡って政府と対立

ロシアの宇宙産業の中核を占める民間ロケット企業、エネルギー社の Nikolai Sevastyanov 社長が 7 月 31 日付けで異例の解任処分となっていたことが 7 日までに、RIA Novosti 通信社の報道により明らかとなった。Sevastyanov 氏は今後もロシアが世界の宇宙産業をリードしていくためにはソユーズ宇宙船に代わる新型の有人宇宙船が必要となるとの持論から、新型の有人宇宙船となる「クリッパー」の開発計画を主導。しかし、ロシア宇宙局など政府部内を中心にクリッパーよりも既に半世紀近くに渡って使われ続けられてきたソユーズ・ロケットの近代化改修事業を優先すべきだとの意見が拡大。結果的に、Sevastyanov 氏はこの論争に敗れてエネルギーの社長の任を解かれてしまったものと見ら

<http://www.technobahn.com/cgi-bin/news/read2?f=200708081205&page=2>

れている。Sevastyanov 氏の解任処分を受けて、Sevastyanov 氏が推進してきた「クリッパー」の開発計画に関しても事実上の棚上げ状態になる可能性が高まってきた。

画像はモスクワで開催された航空ショーで展示された「クリッパー」の実物大モックアップモデル。



2007/8/8 12:31 Technobahn

英国政府、2 隻の大型空母の建造を正式決定

英国海軍は 2 隻の大型航空母艦建造を正式決定し、7 日までに発注を行った。総建造費用は約 39 億ポンド(約 9360 億円)で、約 1 兆円近くにも達する大型プロジェクトとなる。ただし、従来型空母の運用には約 2000 名の乗員が必要なのに対して、新空母は 600~800 名の乗員で運用可となっており、年間の運用費用に関しては従来型空母に比べて大幅な削減が見込まれている。今回、建造が正式決定した新型空母はガス・タービン・エンジンによる通常動力を用い、艦載機には現在、ロッキード・マーチン社が開発中の「F-35 Lightning II 統合戦闘攻撃機」を予定している。全長は 284m で、米のニミツ級航空母母の 333m と比べると小ぶりとなるが、米国以外が保有する空母としては世界最大級のものとなる見通しだ。英国海軍は現在、垂直離

<http://www.technobahn.com/cgi-bin/news/read2?f=200708081231&page=2>

着陸機「Harrier」を搭載した 3 隻の小型空母を保有しているが、この新空母の完成を待つ順次、新旧交代を行う見通し。新空母完成は 2014 年~16 年の予定。完成後、2 隻の空母はそれぞれ「Queen Elizabeth」と「Prince of Wales」と命名予定。



07.07.02 updated CRS Report to Congress RS22684

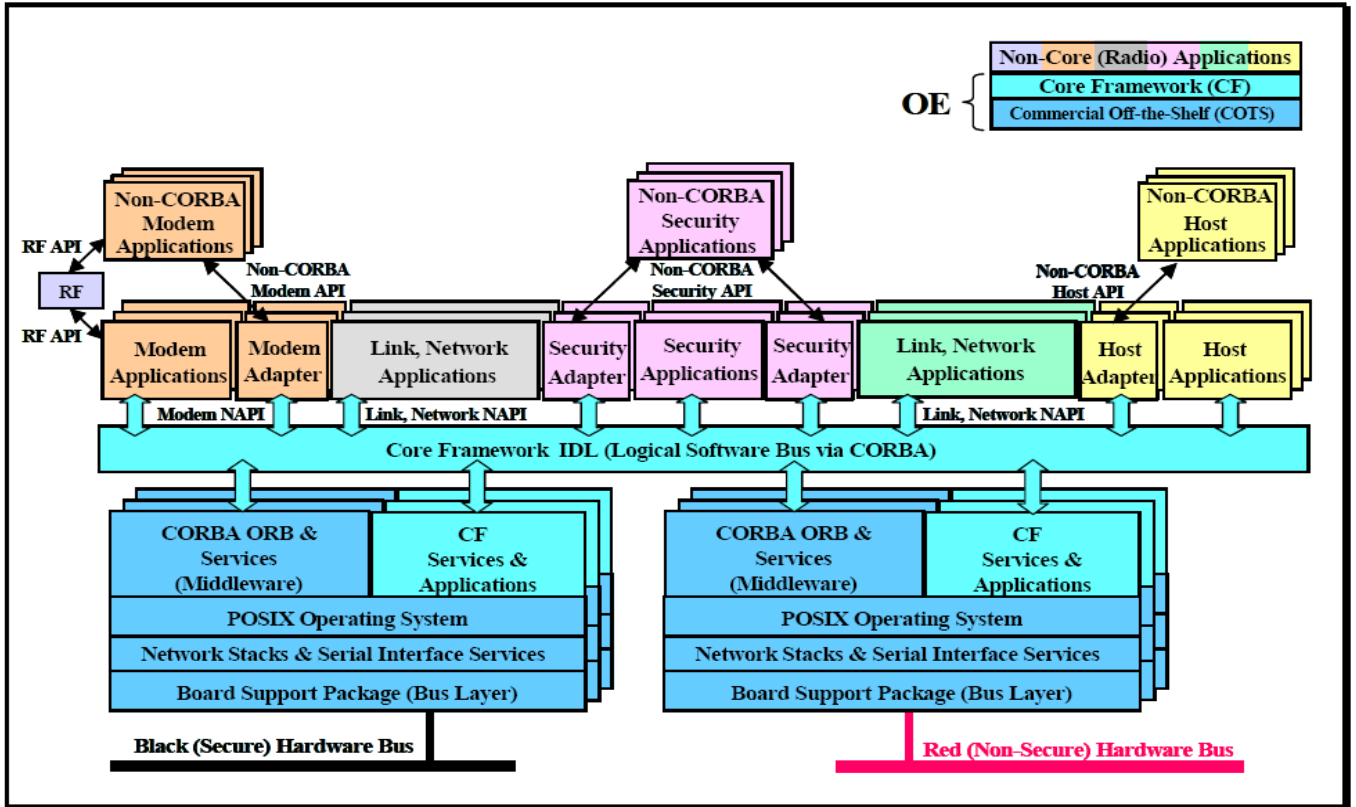
日本への F-22 Raptor の輸出の可能性

Potential F-22 Raptor Export to Japan



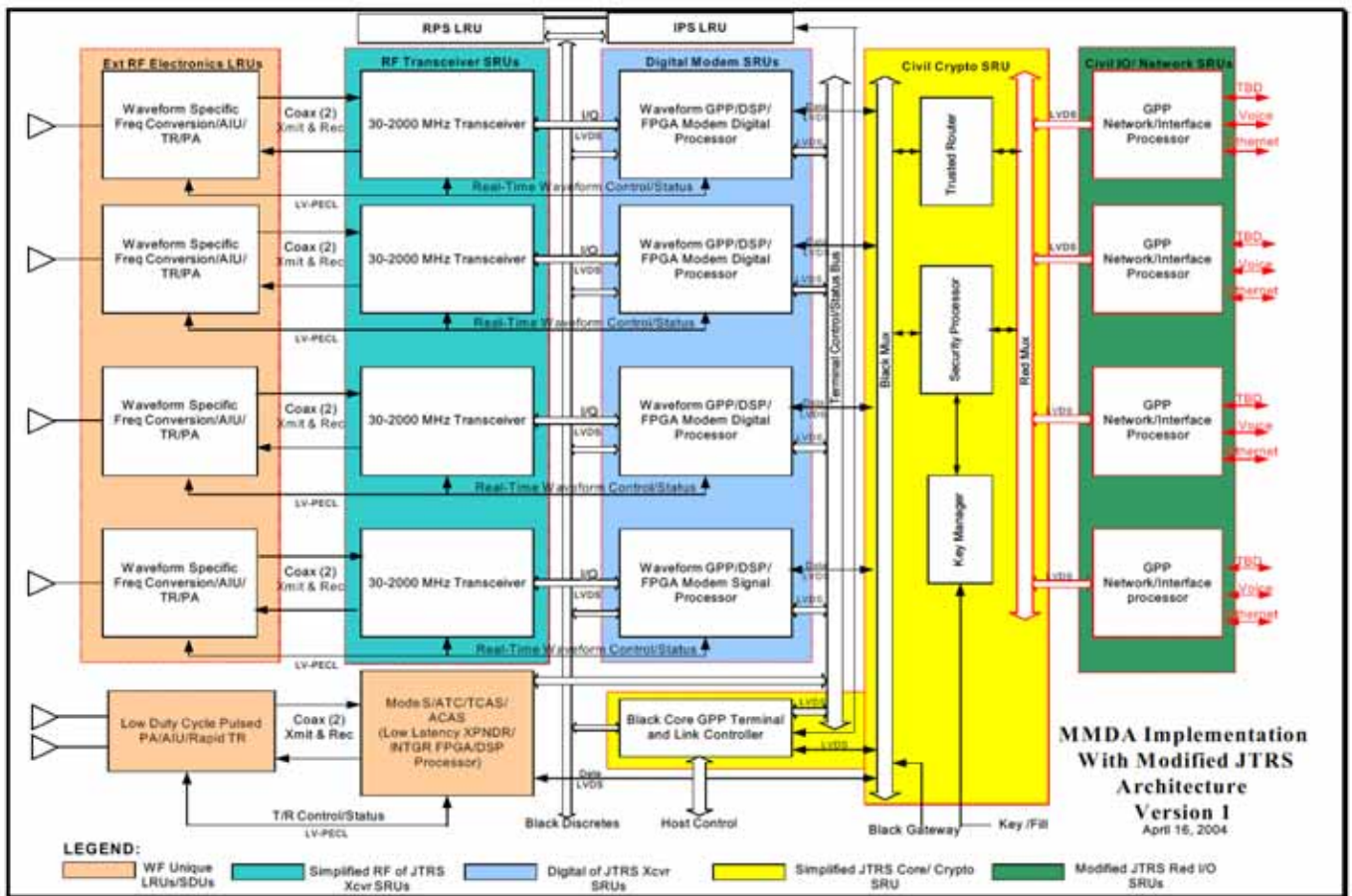
SCA Architecture

SCA = Software Communications Architecture



MMDA Application Using the JTRS Tactical Domain Architecture

MMDA = Multi-Mode Digital Avionics



<http://gltrs.grc.nasa.gov/reports/2005/CP-2005-213878/10-B3%20-%20Avionics%20for%20System-Level%20Enhancements/B3-03-KocinPaper.pdf>

[Technobarn] <http://www.technobahn.com/cgi-bin/news/read2?category=%A5%C6%A5%AF%A5%CE%A5%ED%A5%B8%A1%BC>

Space News <http://www.space.com/spacenews/>

NASA は Delta 2 の退役を決定

NASA Decides To Phase Out Delta 2

NASA intends to conduct its final Delta 2 launch around the end of the decade.

NASA はシャトルの耐熱タイルの損傷に関するスペースウォーク修理を検討する

NASA Mulls Spacewalk Repair for Shuttle Tile Damage

HOUSTON – NASA engineers are analyzing a small, but deep, gouge in the belly-mounted tiles on the Space Shuttle Endeavour

to determine whether astronauts will have to repair the damage in a spacewalk, mission managers said Aug. 12.

NASA は Ares 1 のメイン・ステージに関して\$1.8B の契約を結ぶ

NASA Awards \$1.8 Billion Contract for Ares 1 Main Stage

WASHINGTON — NASA and Alliant Techsystems (ATK) have finalized a no-bid contract worth \$1.8 billion to design and develop the main stage of the Ares 1 rocket that will boost the

agency’s planned Orion Crew Exploration Vehicle into orbit for trips to the international space station and eventually the Moon.

新しい少数派の株主が Intelsat に大きな投資を予定

New Minority Shareholder To Make Big Investment in Intelsat

BOSTON – The European investment company purchasing Intelsat has agreed to take on an unnamed partner who will have

a substantial minority ownership stake that will reduce further the equity now held by Intelsat's four private-equity investors.

シャトルの発泡デブリ衝突は大事には至らずと NASA 述べる

Shuttle's Foam Debris Hits "Underwhelming," NASA Says

HOUSTON – The vital heat shield protecting NASA's space shuttle Endeavour appears in good shape after launch despite

three apparent debris hits, mission managers said Aug. 9.

Yahsat の取引は\$.66B にのぼる

Yahsat Deal Valued at \$1.66 Billion

PARIS – Abu Dhabi's new Yahsat venture has signed a contract valued at \$1.66 billion with Astrium and Thales Alenia Space of Europe to build a two-satellite telecommunications system for

military and civilian users, the two satellite contractors announced Aug. 8.

Inmarsat の経営者は Alphasat の投資を詳述

Inmarsat Execs Detail Alphasat Investment

PARIS – Mobile satellite services operator Inmarsat will spend around \$350 million on the Alphasat program partnership with the European Space Agency (ESA), Inmarsat officials said Aug. 7. In return, the company will get early access to a next-generation

mobile communications platform and a 30 percent increase in the L-band spectrum it can use to serve Europe, the Middle East and Africa.

Atlas 5 による ICO の打上げは来年にまで延びる

ICO Launch on Atlas 5 Delayed Until Next Year

PARIS – ICO Global Communications is asking U.S. regulators to approve a second extension of its deadline to launch a large two-way communications and broadcasting satellite, this time

because of schedule slips associated with the Atlas 5 rocket, ICO Global officials said Aug. 7.

FAA はモハベの突発事故における州の権限に委ねる

FAA Defers to State Authority in Mojave Mishap Inquiry

The FAA is leaving the investigation of a fatal explosion in California to state officials and Scaled Composites.

SES は価格が低下すれば Satmex に関心あり

SES Interested in Satmex if Price Drops

PARIS – Satellite-fleet operator SES remains interested in bidding for Mexico's Satmex operator if the Mexican government lowers the sales price, SES Chairman Romain Bausch said Aug. 6.

Bausch also said SES is in negotiations with Canadian regulators regarding deadlines for developing seven new orbital slots that SES's Ciel partner in Canada won rights to exploit.

2007 年 8 月 13 日 19:11 **Sat News** <http://www.satnews.com/>

日本向けの初の Proton ミッション

First Proton Mission For Japanese

MEV は緊急通信を緩和

MSV Eases Emergency Communications

Stratos Global に対してトリプルプレー

Triple Play For Stratos Global

DoD は追加の衛星バンド幅を受ける予定

DoD To Receive Additional Satellite Bandwidth

Iridium ハンドセットの購入に緊急状況

Emergency Situations Call For Iridium Handsets Purchases

新しい Gilat 衛星の取引で数百の VSAT

Hundreds Of VSATs In New Gilat Satellite Deal

IBC2007 展示会更新

IBC 2007 Exhibition Update

Crystal 社から複数のソース・キャリア信号モニタユニット

Multiple Source Carrier Signal Monitoring Unit From Crystal

ラピッド・レスポンス・コミュニケーションに関し DataPath が契約

Contract Award For DataPath For Rapid Response

Communications

Inmarsat 衛星の ILS による打上げは来春に設定された

Next Spring Set For ILS Launch Of Inmarsat Satellite

MIDS 低容量端末の契約

Contract For MIDS Low Volume Terminals To Data Link

B-2 衛星通信サブシステムの契約がロッキードマーチンに

B-2 SATCOM Subsystem Contract To Lockheed Martin

ノースロップグラマン SBIRS GEO-1 ペイロード納入

SBIRS GEO-1 Payload Delivered By Northrop Grumman

ISCe 衛星投資シンポジウムが 10 月に設定された

ISCe Satellite Investment Symposium Set For October

SkyWave D+ユニットが危険な環境へ

SkyWave D+ Units Into Hazardous Environments

歴史的なデュアル衛星通信システムの合意が調印された

Historic Dual Satellite Communications System Agreement

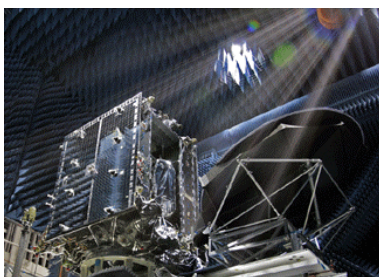
Signed

Lockheed Martin Press Releases <http://www.lockheedmartin.com/wms/findPage.do?dsp=frec&ti=111>

August 10, 2007 ロッキードマーチンの製造した BSAT-3a 衛星の打上げ準備完了

Lockheed Martin-Built BSAT-3a Satellite Ready For Launch

<http://www.lockheedmartin.com/wms/findPage.do?dsp=fec&ci=18518&rsbci=0&fti=111&ti=0&sc=400>



August 08, 2007 ロッキードマーチン F-22 Raptor はアラスカで運用開始

LOCKHEED MARTIN F-22 RAPTOR AIR DOMINANCE FIGHTERS BEGIN OPERATIONAL SERVICE IN ALASKA

<http://www.lockheedmartin.com/wms/findPage.do?dsp=fec&ci=18517&rsbci=0&fti=111&ti=0&sc=400>

August 07, 2007 ロッキードマーチンは\$23M の B-2 爆撃機衛星通信システムアップグレード契約を得る

Lockheed Martin Awarded \$23 Million B-2 Bomber Satellite Communication System Upgrade Contract

<http://www.lockheedmartin.com/wms/findPage.do?dsp=fec&ci=18514&rsbci=0&fti=111&ti=0&sc=400>

August 07, 2007 ロッキードマーチンは\$33M で日本の鳥海にイージス弾道ミサイル防衛を装備する契約

LOCKHEED MARTIN AWARDED \$33 MILLION TO PROVIDE AEGIS BALLISTIC MISSILE DEFENSE TO JAPANESE DESTROYER JDS CHOKAI

<http://www.lockheedmartin.com/wms/findPage.do?dsp=fec&ci=18509&rsbci=0&fti=111&ti=0&sc=400>

August 07, 2007 MEADS は基本設計審査を開始

MEADS Begins Preliminary Design Review

<http://www.lockheedmartin.com/wms/findPage.do?dsp=fec&ci=18513&rsbci=0&fti=111&ti=0&sc=400>

MEADS = The Medium Extended Air Defense System

August 07, 2007 F-35 は将来のパイロットの訓練のための設計審査を完了

F-35 Completes Successful Design Review to Train Pilots of the Future

Boeing News Releases <http://www.boeing.com/news/releases/index.html>

Aug. 9, 2007 ポーイングチーム TSAT は技術の成熟度を実証

Boeing TEAM TSAT Demonstrates Technology Maturity

http://www.boeing.com/news/releases/2007/q3/070809a_nr.html

8/8/2007 # 385 **France in Space** <http://www.france-science.org/home/page.asp?target=nfo-let&PUBLID=9&LNG=us>

*****目次*****

ATV のドッキング・シミュレーションは成功裏に遂行された

- 1: ATV DOCKING SIMULATION SUCCESSFULLY CARRIED OUT

Astrium は新しい Vega 上段スタディに関する契約を得る

- 2: ASTRIUM AWARDED CONTRACT FOR NEW VEGA UPPER STAGE STUDY

欧州委員会は SES ASTRA / EUTELSAT ジョイント・ベンチャを承認

- 3: EUROPEAN COMMISSION GIVES GREENLIGHT TO SES ASTRA / EUTELSAT JOINT VENTURE

米国と欧州は民間の航法信号に関して合意に達する

- 4: U.S. AND EUROPE REACH AGREEMENT ON CIVIL NAVIGATION SIGNAL

EADS Astrium は売上げと利益が増加

- 5: EADS ASTRIUM RECORDS HIGHER PROFIT & REVENUE

CNES と CNRS は宇宙分野の研究の枠組みに合意

- 6: CNES & CNRS SIGN FRAMEWORK AGREEMENT ON SPACE RESEARCH

要約

- 7: IN BRIEF

- 1: ATV のドッキング・シミュレーションは成功裏に遂行された

- 1: ATV DOCKING SIMULATION SUCCESSFULLY CARRIED OUT

Last week, in what was a world's first, three human spaceflight control centers, located in three different countries, successfully carried out a simulated rendezvous of Europe's Automated Transfer Vehicle (ATV) with the International Space Station (ISS). The three control centers taking part in the simulation, and which will follow the actual rendezvous in early 2008, were CNES' ATV Control Center in Toulouse, France, NASA's Mission Control in Houston, Texas and the Russian Mission Control Center (TsUP) near Moscow. The ATV Control Center

in Toulouse acted as the lead mission control center in charge of man-rated operations for the ATV while the Mission Control Centers in Moscow and Houston supported and authorized the rendezvous. The simulated rendezvous showed that the systems and control centers are all working well. The teams will nevertheless make some adjustments and are planning on carrying out a dozen more simulations, including a few failure scenarios, before the actual mission. [ESA 08/03/07]

- 2: Astrium は新しい Vega 上段スタディに関する契約を得る

- 2: ASTRIUM AWARDED CONTRACT FOR NEW VEGA UPPER STAGE STUDY

Astrium has been awarded a contract from the German Aerospace Center (DLR) to study concepts for a new upper stage for Vega, the new European launcher. The study, baptized VENUS (VEga New Upper Stage), is worth roughly half a

million euros and will run for 18 months. Currently under development by the Italian Space Agency for the European Space Agency, Vega is scheduled to launch for the first time in 2009. According to Gunter Stamerjohanns, Head of Astrium's

launcher systems, the VENUS study “holds tremendous potential for Astrium in Bremen. It could lead to us developing and building the upper stages of every future European launcher. We will use

our extensive expertise built up on Ariane as we progress the study...” [EADS Astrium 07/23/07, Agence France Presse 07/24/07]

- 3: 欧州委員会は SES ASTRA / EUTELSAT ジョイント・ベンチャーを承認

- 3: EUROPEAN COMMISSION GIVES GREENLIGHT TO SES ASTRA / EUTELSAT JOINT VENTURE

On July 25th, the European Commission approved the proposed joint venture between SES Astra of Luxemburg and Eutelsat of France. The joint venture will be created to develop a satellite infrastructure for mobile television and two-way communications services in S-band; the satellite is to be launched in 2009. The Commission concluded that the transaction would not significantly impede competition in Europe as several competing terrestrially-based mobile broadcast technologies are already in

development. In 2006, both companies had announced that, instead of each building and launching S-band satellites in what they both deemed a risky market, they would split the cost of adding an S-band antenna to Eutelsat’s W2A satellite. The two companies had estimated the cost of building and integrating the antenna, and making other necessary modifications to the W2A spacecraft, at approximately 130 million euros. [European Commission 07/25/07, Space News 07/30/07]

- 4: 米国と欧州は民間の航法信号に関して合意に達する

- 4: U.S. AND EUROPE REACH AGREEMENT ON CIVIL NAVIGATION SIGNAL

U.S. and European negotiators meeting on July 26th came to an agreement on a common signal for their future navigation and positioning satellite systems which should allow for higher precision tracking in urban canyons and other difficult locations. Both sides agreed that the future GPS 3A and Galileo Open Service signals will employ a common structure. The U.S. and Europe had previously agreed to work together towards an

optimal compatibility and interoperability of the two systems according to a June 2004 agreement. Both GPS 3A and Galileo are several years away from entering service however the new agreement on signal compatibility gives GPS 3 system builders and designers time to integrate the common signal structure into their instruments. [Space News 07/30/07]

- 5: EADS Astrium は売上げと利益が増加

- 5: EADS ASTRIUM RECORDS HIGHER PROFIT & REVENUE

EADS Astrium, the space division of EADS N.V., reported its half-year results on July 26th which showed sharp increases in revenue and gross profit for the six months ending June 30th. EADS Astrium had revenues of 1.42 billion euros which represents an almost 12% growth over the same period a year earlier. Profit before interest and taxes rose 24% over last year to 47 million euros. EADS’ Paradigm Services, which provides telecommunications services to the British Defense Ministry, cleared an important milestone this year with the launch of the first Skynet 5A military telecommunications satellite; a second satellite is scheduled for launch in December. Services accounted for 16% of EADS Astrium’s revenue for the first six

months of 2007. Satellite manufacturing accounted for 38% of revenue as the company has booked four new commercial telecommunications satellite orders this year alone. Astrium Space Transportation, the entity which carries out work on the Ariane 5 launcher as well as ballistic missile development for the French Ministry of Defense, accounted for 46% of revenue. During the Paris Air Show, EADS Astrium and Arianespace signed a Memorandum of Understanding (MoU) regarding the production of 35 Ariane 5 ECA launchers; the agreement ensures launcher continuity from 2010 onwards. [EADS 07/26/07, Space News 07/30/07]

- 6: CNES と CNRS は宇宙分野の研究の枠組みに合意

- 6: CNES & CNRS SIGN FRAMEWORK AGREEMENT ON SPACE RESEARCH

Arnold Migus, Director General of CNRS (the French National Center for Scientific Research), and Yannick d'Escatha, President of CNES, met on July 30th to sign a new framework agreement between the two agencies which will carry them through the next three years. This new agreement prolongs the convention, originally signed in 1976, calling on the two organizations to work together in the area of Earth and Space Sciences. The complementarities between the two agencies' respective competences in science and technology and the

necessity to optimize investments led the two agencies to reinforce their cooperation. Among the most recent successes of this fruitful cooperation are the JASON oceanographic satellite, carried out in cooperation with the United States, the DEMETER micro-satellites (detection of seismic, volcanic and man-made signals), PARASOL (climate monitoring micro-satellite, carried out in cooperation with the United States), and the COROT satellite currently searching for exoplanets. [CNES & CNRS 07/30/07]

- 7: 要約

- 7: IN BRIEF

ESA's Eurobot, a multi-jointed functioning robot currently being developed for the agency by a consortium led by Thales Alenia Space, recently completed its second set of trials in a neutral buoyancy tank at the European Astronaut Center in Cologne,

Germany. The robot was designed to assist astronauts during extravehicular activity (EVA) and even complete everyday EVA on its own. ESA intends to propose a demonstration mission at its next ministerial meeting in 2008. [Aviation Week 07/23/07]

JDW, [Jane's Defence Weekly](http://jdw.janes.com/public/jdw/index.shtml) <http://jdw.janes.com/public/jdw/index.shtml>

13-Aug-2007 **ロシアはジョージアの攻撃を否定**

Russia denies Georgian attack

Moscow has denied claims that Russian aircraft launched an air-to-surface missile at Georgian territory on 6 August.

According to Georgian reports, two Russian Air Force...

13-Aug-2007 **米陸軍の地上ロボットは指数的増加を見込む**

US Army ground robots see exponential growth

The US Army has more than 5,000 unmanned ground vehicles (UGVs) operating in Iraq and Afghanistan, according to a senior

service official. Colonel John ...

13-Aug-2007 **SWORDS 武装ロボットはイラクで戦闘チームに加わる**

SWORDS armed robots join combat team in Iraq

The US Army's armed ground robot has made its debut in Iraq, representing a new milestone for unmanned systems. The

Special Weapons Observation Remote reconnaissance...

13-Aug-2007 **オンライン上に中国のミサイルの輸送/発射車両の画像が載る**

Theories mount over online Chinese missile pictures

Two photographs - one showing two missiles on transporter erector launchers (TELs) and the other showing a TEL - were

uploaded onto the Chinese Internet...

07-Aug-2007 **ジョージアはロシアの戦闘機が村の近くにミサイルを発射したと主張**

Georgia claims Russian fighters fired missile near village

Two Russian Su-24 fighter aircraft have "violated Georgian

airspace" and fired a missile that narrowly missed a village,

according to the Georgian Ministry of Defence ...

[平山ニュース 2007 年 月 日] <http://www.wikihouse.com/space/>

[NEWS]

8/13 嫦娥 1 号の海上観測船「遠望 4 号」が事故 打上に影響か(朝)
STS-118 Endeavour
・8/12 損傷はタイル底部まで 耐熱布が露出 飛行を 3 日延長(NASA,毎,読,朝,時) ・8/11 打上時に氷片が衝突か 耐熱タイル損傷(毎,読)
8/10 古川飛行士 海底訓練施設から会見(毎,朝)
8/4 0926GMT 打上成功:火星探査機 Phoenix,Delta2,Cape Canaveral
8/4 0733GMT 打上成功:CAMUI ロケット 250kg 級,大樹町 高度 3.5km に到達(北海道新聞,毎,経)
8/8 2236GMT 打上成功:Endeavour,STS-118(ISS 13A.1),KSC
8/3 JAXA と東北大が協力協定(JAXA,時)
8/2 準天頂衛星のサービス会社「新衛星ビジネス」が解散(産)
Progress 26P,Soyuz,Baikonur ・8/5 1840GMT ISS にドッキング ・8/2 1734GMT 打上成功

[予定]

8/14 2344-0021GMT 打上:(放送衛星 Spaceway3(米),放送衛星 BSAT3A(日)), Ariane5,Kourou
8/8 2236GMT 打上:Endeavour,STS-118(ISS 13A.1),KSC

[EVENT]

9/14 「空の日・宇宙の日」記念特別講演会,日本航空協会
9/9 「空の日・宇宙の日」イベント,JAXA 調布
9/7 応募締切:アイデア水ロケットコンテスト, 10/21,かかみがはら航空宇宙科学博物館
9/1 四日市市立博物館 宇宙塾「はやぶさ 太陽系大航海時代にむけて」
8/31 締切:だいちくんの夏休み'07 自由研究レポート募集>JAXA
8/25 JAXA 勝浦宇宙通信所「宇宙の日」施設一般公開
8/17 締切:「空の日・宇宙の日イベント」絵画コンクール,4 歳-小学生>JAXA
8/14-16 JAXAi キッズデー2007
8/11- 日本未来科学館 全天周映画「宇宙エレベータ 科学者の夢みる未来」
8/11 ISAS 宇宙学校・うえだ,上田創造館,小 4-中学生 500 名(親子可)
8/10 まで JAXAi 夏休み特別企画展「宇宙と空の不思議を知ろう!展」
8/10 HASTIC 夏休み宇宙実験教室,植松電機
8/7 第 28 回宇宙ステーション利用計画ワークショップ,一橋記念講堂

[学会]

9/12-14 Low Cost Planetary Missions Symposium,Pasadena,California
9/10-13 第 12 回宇宙用太陽電池較正・測定技術国際ワークショップ, ホテルライフオート札幌
9/9-12 JSME2007 年度年次大会,関西大学千里山キャンパス ・9/9 市民フォーラム「惑星探査のテクノロジー」,小 5 以上
8/17 申込締切:JSASS 西部支部講演会 2007,11/16-17,熊本大学
8/10 申込締切:第 50 回自動制御連合講演会,11/24-25,慶応大学(日吉)

[TV] ディスカバリ・チャンネル他

8/18 1615-1630 8/11 1715-1730 サイエンスチャンネル Message from Scientists(49) 永田晴紀
8/7 0730-0800 ディスカバリ・チャンネル 舞台裏のスーパーテクノロジー4-1(宇宙飛行士の訓練 ほか)

[etc.]

10/1 締切:「宇宙を教育に利用するためのワークショップ」参加者及び発表者募集, 2008/1/31-2/2,Houston

8/17 応募締切:58th IAC 学生派遣プログラム,大学生-大学院生>JAXA

8/10 新刊:武部俊一「宇宙開発の50年 スポートニクからはやぶさまで」朝日新聞社

[中国宇宙開発] http://dailynews.yahoo.co.jp/fc/world/china_space_exploration/

-
- 中国が電波ジャック防止 秋の党大会を控えて(産経新聞) (16日10時22分)
 - 国産携帯型人工心臓、移植子牛の生存記録更新(YONHAP NEWS) (15日1時33分)
 - <中国>初の宇宙飛行は失敗寸前だった 管制責任者明かす(毎日新聞) (14日10時44分)
 - 交信途絶、極めて危険な状態に＝失敗寸前だった中国初の有人飛行(時事通信) (14日1時3分)
 - 月探査衛星、打上げ延期か＝観測船が衝突事故－中国(時事通信) (13日16時0分)
 - 中国の空軍力増強に警戒 小池防衛相がチェイニー副大統領、アーミテージ氏と会談(産経新聞) (9日9時54分)
-

[宇宙開発] http://dailynews.yahoo.co.jp/fc/science/space_exploration/

-
- <全長13光年>くじら座のミラから彗星のような尾(毎日新聞) (16日11時50分)
 - 船外活動中、飛行士の宇宙服左手部分に「穴」(読売新聞) (16日11時15分)
 - 「かぐや」9月13日に打上げ(産経新聞) (16日8時0分)
 - 米元女性教師が宇宙授業を実施(時事通信) (15日13時43分)



- <月周回衛星>「かぐや」の打上げは来月13日に(毎日新聞) (15日12時14分)
- <宇宙授業>宇宙飛行士の元教師、アイダホ州の子供たちに(毎日新聞) (15日11時17分)
- 地上350キロの「教壇」スペースシャトルからの授業実現(読売新聞) (15日10時36分)
- 「修理は不可欠でない」米シャトル損傷、NASAが見通し(読売新聞) (14日11時8分)
- 釣りざお、宇宙へ がまかつの技術が人工衛星に - 神戸新聞 (13日15時32分)
- シャトル損傷は耐熱タイル底部まで、修理が必要か分析へ(読売新聞) (13日13時58分)
- <シャトル>タイル損傷で耐熱布露出 飛行期間を3日延長 (毎日新聞) (13日10時2分)
- 米シャトル「エンデバー」機体に損傷、船外活動の傍ら調査開始(ロイター) (12日18時18分)



- 「エンデバー」の耐熱タイルに傷、打上げ時に氷が衝突か(読売新聞) (11日13時35分)
- <シャトル>耐熱タイル損傷 打上げ時に氷片衝突か(毎日新聞) (11日10時32分)
- 宇宙飛行士 古川聡さん、海底訓練施設からテレビ会見(毎日新聞) (10日17時7分)



- 国内最大の科学祝祭、きょうから KINTEX で開催 (YONHAP NEWS) (10 日 15 時 29 分)



- <宇宙飛行士>古川聡さん、海底訓練施設からテレビ会見(毎日新聞) (10 日 11 時 37 分)
- シャトル爆発の悪夢乗り越え…元教師、宇宙へ(産経新聞) (9 日 20 時 26 分)
- <シャトル>打上げ成功 女性元教師、23年目の夢宇宙へ(毎日新聞) (9 日 11 時 11 分)
- 「先生」宇宙へ行く(時事通信) (9 日 9 時 43 分)



- 21年前の悪夢を乗り越え、元教師が宇宙へ スペースシャトル打上げ成功(産経新聞) (9 日 9 時 38 分)
- 米スペースシャトル「エンデバー」打上げに成功(ロイター) (9 日 8 時 33 分)
- エンデバー打上げ=20 年搭乗待った元女性教師に脚光-NASA(時事通信) (9 日 8 時 0 分)
- 宇宙飛行士候補、来週から国内で宇宙科学実験訓練 (YONHAP NEWS) (6 日 17 時 11 分)

[ミサイル防衛] http://dailynews.yahoo.co.jp/fc/world/missile_defense_system/?1181274734

- 対欧米、結束誇示へ 上海協力機構、きょう首脳会議(産経新聞) (16 日 8 時 0 分)
- 露、宇宙防衛網構築へ 米ミサイル防衛に対抗…2015年目標(産経新聞) (14 日 17 時 45 分)
- 米陸・海・空軍、期待の無人兵器で開発主導権争い(産経新聞) (13 日 11 時 54 分)
- 米、ミサイル防衛ソフトの対日供給を一時停止(産経新聞) (11 日 22 時 34 分)
- <米国>イージス艦ミサイルの部品供給停止 海自情報流出で(毎日新聞) (11 日 11 時 11 分)
- 米が部品提供を一時停止=海自イージス艦改修、情報管理に懸念(時事通信) (11 日 11 時 1 分)
- 日本の情報保全を懸念…米がイージス艦ソフトを一時供給停止(産経新聞) (11 日 10 時 52 分)
- 日米軍事情報包括保護協定 調印し発効 機密漏えい防ぐ(毎日新聞) (11 日 10 時 33 分)
- 軍事情報保全協定 日米締結 MD導入、円滑化(産経新聞) (11 日 8 時 1 分)

- 海自イージス艦、米が部品供給一時停止…情報流出を懸念か(読売新聞) (11日3時4分)
- <日米軍事情報包括保護協定>調印し発効 機密漏えい防ぐ(毎日新聞) (10日23時7分)
- 軍事情報保護協定を締結＝日米の一体化が加速(時事通信) (10日21時1分)
- <上海協力機構>初の合同軍事演習…軍事的結束を強調(毎日新聞) (10日3時4分)
- 上海機構が初の軍事演習＝結束誇示で米けん制－中口など6カ国(時事通信) (9日15時2分)
- 新型SLBM量産へ 露、米MD網に対抗(産経新聞) (7日8時0分)
- <米国防歳出法案>米下院が可決 人件費や装備調達費が中心(毎日新聞) (6日10時3分)

[米軍動向] http://dailynews.yahoo.co.jp/fo/world/us_armed_forces/

- イラク北部での自爆攻撃、死者は200人以上に(ロイター) (16日14時53分)
- <イラン革命防衛隊>米がテロ組織に指定 米紙報道(毎日新聞) (16日13時5分)
- イラク北部の連続爆弾テロ、死者250人に(読売新聞) (16日11時23分)
- <イラク>自爆テロの死者250人に 03年の開戦後、最悪(毎日新聞) (16日11時4分)
- イラク自爆テロ、最大級の規模か 死者500人以上(産経新聞) (16日10時12分)
- 米軍に初めて消費拡大促す 県産品奨励委が活動総括(琉球新報) (16日9時50分)
- 米軍再編法 交付金、防衛相の裁量(琉球新報) (16日9時40分)
- 米、アフガンで大規模攻撃(産経新聞) (16日8時1分)
- 少数宗派狙い自爆テロ、200人死亡 イラク最悪、地方に拡散(産経新聞) (16日8時1分)
- 自爆テロの死者500人に＝米軍高官、「民族浄化」と非難－イラク北部(時事通信) (16日8時1分)
- アルカイダ系組織の犯行か＝死者200人に－イラク北部同時テロ(時事通信) (15日21時0分)
- <イラク>北部で車の自爆テロ、175人死亡 過去最悪規模(毎日新聞) (15日10時46分)
- 「戦艦大和慰霊塔」老朽化進み倒壊の恐れ 伊仙町が再建へ募金(西日本新聞) (15日10時9分)
- 「15カ月駐留」長期化も＝イラク派遣で米陸軍(時事通信) (15日10時1分)
- <在日米軍再編>新司令部の座間移転でチーム発足へ(毎日新聞) (14日20時53分)
- 那覇防衛施設局 方法書の縦覧開始 普天間移設 環境影響評価 沖縄県など協力拒否(西日本新聞) (14日17時7分)
- サイバー攻撃でHPまひ 国内で被害確認(産経新聞) (14日16時36分)
- 「カストロ後」に軍再編支援＝日本も文官養成関与を－米報告書(時事通信) (14日15時1分)
- <アフガン拉致>解放の2人、一両日中に韓国へ(毎日新聞) (14日12時56分)
- 解放人質を帰国後も特別保護、タリバン刺激を警戒(YONHAP NEWS) (14日11時59分)
- カメラで飛行調査へ 普天間飛行場の場周経路見直し(琉球新報) (14日9時54分)
- 解放女性2人の健康状態は良好、韓国軍部隊で保護(YONHAP NEWS) (14日9時25分)
- タリバン、人質2女性を解放…韓国大使館員が保護(読売新聞) (14日3時7分)
- 韓国人女性2人解放、自力で歩ける状態 タリバン拉致(産経新聞) (13日21時56分)
- <韓国>米韓演習中の独自訓練を延期 南北首脳会談に配慮(毎日新聞) (13日20時20分)
- 対テロ戦のジレンマ 手詰まりムシャラフ政権(産経新聞) (13日14時38分)
- 米陸・海・空軍、期待の無人兵器で開発主導権争い(産経新聞) (13日11時54分)
- 韓米合同軍事演習、韓国軍の機動訓練は取りやめ(YONHAP NEWS) (13日11時52分)
- 小池大臣vs防衛次官…政府も巻き込み人事戦争(産経新聞) (12日15時59分)
- 国連イラク支援団の任務拡大を採択、要員も増やす見通し(読売新聞) (11日20時6分)
- <米国>イージス艦ミサイルの部品供給停止 海自情報流出で(毎日新聞) (11日11時11分)
- 日米軍事情報包括保護協定 調印し発効 機密漏えい防ぐ(毎日新聞) (11日10時33分)



- 岩国基地・民間空港再開問題 知事「ぎりぎりまで努力」 県単独で国に予算要望へ(西日本新聞) (11日10時9分)
- ハンセンに米陸軍射撃場 特殊部隊専用、来年着工(琉球新報) (11日9時49分)
- 普天間飛行場 日本側負担2億円(琉球新報) (11日9時46分)
- <米軍普天間飛行場>ヘリ墜落受け飛行ルートを見直し、合意(毎日新聞) (11日8時32分)
- 軍事情報保全協定 日米締結 MD導入、円滑化(産経新聞) (11日8時1分)
- 海自イージス艦、米が部品供給一時停止…情報流出を懸念か(読売新聞) (11日3時4分)
- 国連の任務拡大決議を採択＝イラク復興で役割強化に道－安保理(時事通信) (11日1時0分)
- <日米軍事情報包括保護協定>調印し発効 機密漏えい防ぐ(毎日新聞) (10日23時7分)
- 日米両政府が「軍事情報包括保護協定」を正式に締結(読売新聞) (10日22時59分)
- 朝鮮人民軍、韓米軍事演習中止求める声明を米に通達(YONHAP NEWS) (10日16時3分)
- 米・イラン関係に転機＝軍事圧力緩和、武力行使不可能に(時事通信) (10日15時1分)
- <北朝鮮>米韓合同軍事演習を批判 「打撃手段を完備する」(毎日新聞) (10日14時3分)
- 普天間ヘリ飛行ルート見直し＝住宅密集地を回避－日米合同委(時事通信) (10日14時1分)
- 米韓演習に反発声明＝「強力な打撃手段完備に全力」－北朝鮮軍(時事通信) (10日13時3分)
- <米の橋崩落>行方不明者1人の死亡確認 2人の遺体も収容(毎日新聞) (10日11時37分)
- 49ヘクター逆L字形確定 那覇軍港移設(琉球新報) (10日9時51分)
- テロ特措法反対、日英関係も後退 英王立統合防衛研部長が警告(産経新聞) (10日8時0分)
- テロ特措法修正協議 小沢氏「拒否」崩さず 政府に苦悩の色(産経新聞) (9日14時53分)
- 小池防衛相の訪米を批判＝自民・山崎氏(時事通信) (9日13時1分)
- 小沢民主代表 テロ特措法延長反対を伝える 米大使と会談(毎日新聞) (9日10時24分)
- 海自派遣の継続を伝達 日米防衛相会談(産経新聞) (9日8時1分)
- 米国防長官、テロ特措法の延長に期待＝小池防衛相、支援継続伝える(時事通信) (9日3時0分)
- <小池防衛相>米国防長官と会談 テロ特措法延長方針を強調(毎日新聞) (9日1時36分)
- テロ特措法延長反対＝小沢氏、米大使に(時事通信) (8日22時3分)



- テロ特措法延長に反対＝民主・小沢氏が米大使に言明(時事通信) (8日21時2分)
- <小沢民主代表>テロ特措法延長反対を伝える 米大使と会談(毎日新聞) (8日20時15分)
- 「長崎」後、東京投下を検討＝3発目の原爆標的－米軍機密電文(時事通信) (8日16時0分)
- 普天間移設、方針変わらず＝塩崎官房長官(時事通信) (8日13時3分)
- オスプレイ配備ほかず 方法書で全体計画判明(琉球新報) (8日9時47分)
- 防衛省、アセス方法書提出 知事、意見拒否の方針(琉球新報) (8日9時41分)

- イラク、閣僚の半数「不在」 マリキ政権、機能不全深刻(産経新聞) (8日8時1分)
- 日米防衛首脳会談へ小池防衛相出発(産経新聞) (8日8時1分)
- <アフガン>米軍とタリバン、ガズニ州で大規模な戦闘(毎日新聞) (8日1時22分)
- <普天間移設>施設庁がアセス方法書提出 沖縄県受理せず(毎日新聞) (8日0時21分)
- <アフガン拉致>女性対女性の交換「考慮する」 タリバン側(毎日新聞) (7日20時53分)
- SNSが標的に ハッカー、ベガス会議で脆弱性を指摘(産経新聞) (7日16時39分)
- 守屋防衛次官退任へ 在任4年、異例の長さ(産経新聞) (7日16時39分)
- ラスベガスでハッカー会議 ネットワーク脆弱性を指摘(産経新聞) (7日16時32分)
- 小沢代表がイラク自衛隊撤退時期明示を要求(産経新聞) (7日13時30分)
- 「妥協せず」確認 アフガン・米首脳会談(産経新聞) (7日8時1分)
- 新型SLBM量産へ 露、米MD網に対抗(産経新聞) (7日8時0分)
- <防衛省>守屋事務次官退任へ 後任は西川官房長(毎日新聞) (7日3時8分)
- 米橋崩落 犠牲者悼む追悼式 被害者家族など900人参加(毎日新聞) (6日16時53分)

[核兵器] http://dailynews.yahoo.co.jp/fc/world/nuclear_weapons/

- 06年北朝鮮GDP伸び率、7年連続プラスからマイナス成長に(ロイター) (16日15時42分)
- 原爆認定基準、早期に見直し＝安倍首相(時事通信) (16日13時2分)
- 米、イラン革命防衛隊を「テロ組織」指定か 対決姿勢、より鮮明に(産経新聞) (16日8時0分)
- 首相、終戦記念日の靖国参拝見送り 色あせる「安倍らしさ」(産経新聞) (16日8時0分)
- 水害復旧に軍を動員、北朝鮮の各地で被害続く(YONHAP NEWS) (15日16時5分)
- 米国で対韓兵器販売特別法推進、兵器購入条件を緩和(YONHAP NEWS) (15日15時9分)
- 豪、インドにウラン売却へ＝平和利用に限り政策転換－新聞報道(時事通信) (15日11時0分)
- 露列車脱線60人負傷 テロ、都市部への拡散懸念(産経新聞) (15日8時0分)
- 対パレスチナ アッバス議長支援 日・イスラエル外相一致(産経新聞) (15日8時0分)
- 豪、印向けウラン輸出解禁(産経新聞) (15日8時0分)
- 北朝鮮への食糧・保健支援、昨年は10年来低水準(YONHAP NEWS) (14日11時5分)
- 開城工業団地訪問行事、北朝鮮が延期を要請(YONHAP NEWS) (13日20時7分)
- “良好”印パ、潜む火種 アフガン抱き込み攻防(産経新聞) (13日14時51分)
- 戦死米兵11人の追悼碑建立 「B29」墜落の名張市青蓮寺地区(産経新聞) (13日12時35分)
- 金桂寛次官とヒル次官補、週初め北京で会合見通し(YONHAP NEWS) (12日13時51分)
- 成功裏に任務完了…IAEA査察チーム第2陣、平壤を出発(読売新聞) (11日20時21分)
- <IAEA>北朝鮮査察第2陣が北京到着 初期措置ほぼ確認(毎日新聞) (11日13時23分)
- 制裁下 イランの銀行 東南アジアに金融拠点作り 支店開設で活路探る(産経新聞) (11日8時0分)
- 米・イラン関係に転機＝軍事圧力緩和、武力行使不可能に(時事通信) (10日15時1分)
- 金総書記が米にメッセージ「韓国以上に親密なパートナーに」(産経新聞) (10日11時30分)
- 62回目「長崎原爆忌」 首相、非核三原則堅持誓う(産経新聞) (10日8時2分)
- 南北首脳会談、韓国大統領は陸路訪朝か(産経新聞) (10日5時43分)
- 「中国の影響力低下も」 南北首脳会談(産経新聞) (9日23時26分)
- 「6カ国進展望む」米、南北首脳会談に歓迎と警戒(産経新聞) (9日22時15分)
- <安倍首相>久間氏発言、長崎の被爆者に陳謝(毎日新聞) (9日20時38分)
- 長崎原爆 平和祈念式典 宣言で非核三原則の法制化求める(毎日新聞) (9日17時25分)

- 安倍首相 久間氏発言は「申し訳ない」(毎日新聞) (9日 17時 25分)
- 62回目長崎原爆忌 核廃絶の願い受け継ぐ 田上市長 政府に「決意」迫る(産経新聞) (9日 16時 55分)
- 安倍首相、久間氏発言について陳謝(時事通信) (9日 16時 28分)
- 安倍首相、久間氏発言「申し訳ない」と陳謝＝被爆者は控訴取り下げ要求(時事通信) (9日 15時 2分)
- 長崎、62回目原爆忌(時事通信) (9日 14時 13分)
- 安倍首相、久間前防衛相「しょうがない発言」を陳謝(産経新聞) (9日 13時 39分)
- 原爆忌・政府は被爆国の自覚を(時事通信) (9日 13時 27分)
- <原爆症>認定基準見直しプロジェクトチーム発足へ 自民党(毎日新聞) (9日 12時 57分)
- <安倍首相>久間氏発言は「申し訳ない」(毎日新聞) (9日 12時 52分)
- 首相「憲法順守し非核3原則堅持」 長崎原爆忌であいさつ(産経新聞) (9日 12時 19分)
- <長崎原爆>平和祈念式典 宣言で非核三原則の法制化求める(毎日新聞) (9日 12時 16分)
- 久間発言に市長射殺…暗い影落とす「長崎原爆の日」平和記念式典(産経新聞) (9日 12時 15分)
- 原爆の「無言の語り部」―被爆クスノキ(時事通信) (9日 12時 7分)
- 政府は被爆国の自覚を＝「核廃絶に指導力」平和宣言で訴え―長崎、62回目原爆忌(時事通信) (9日 12時 2分)
- 長崎で62回目の原爆忌 田上市長、核三原則の法制化訴え(産経新聞) (9日 11時 53分)
- 北、重油・資機材供与を要請 作業部会(産経新聞) (9日 8時 0分)
- 北、毎月重油5万トンの供与要請＝エネ部会が閉幕―板門店(時事通信) (8日 20時 1分)
- 9日、長崎原爆の日＝62回目、被爆国の自覚政府に求める(時事通信) (8日 14時 31分)
- <南北首脳会談>米の政策軟化が後押し 両政権の思惑一致(毎日新聞) (8日 13時 2分)
- 南北首脳会談、6カ国協議よりも韓国大統領選に影響か(ロイター) (8日 12時 40分)
- 韓国は化学・核兵器攻撃対象の高危険地域、米国務省(YONHAP NEWS) (8日 11時 2分)
- 中国、重油支援を表明 板門店でエネ作業部会(産経新聞) (8日 8時 1分)
- 南北経済貿易緊密化協定結ぶべき、サムスン経済研(YONHAP NEWS) (7日 16時 11分)
- 広島で62回目原爆忌 人類意志として核兵器廃絶を(産経新聞) (7日 8時 0分)
- <原水爆禁止>原水禁系、原水協系の広島大会閉幕(毎日新聞) (6日 19時 52分)
- 原爆の日 核のない地球へ新たな誓い 広島(毎日新聞) (6日 16時 53分)
- 韓国が「軽水炉白書」で米を批判、北に同情 再開に言及(産経新聞) (6日 16時 5分)
- 原爆忌 久間発言で浮かんだ戦争観とは…(産経新聞) (6日 13時 14分)
- <テロ特措法>民主の協力得るため修正に柔軟対応 首相示唆(毎日新聞) (6日 12時 54分)

[ASAGUMO NEWS] 朝雲新聞社 <http://www.asagumo-news.com/>

8/13 グラフ特集更新

<訓練> /// 近接戦闘、ドアガン射撃、空中給油、北方転地、南方転地、海外出動

8/10 「ニュース」更新

防衛行政の舞台裏支えた 施設庁の半世紀 <上> /// 占領軍の接收で混乱 /// 敗戦直後 調達庁設置し秩序回復へ

在沖海兵隊グアム移転 /// 事業内容の説明会 国内企業 270社が参加

中越沖地震の派遣人員縮小へ /// 災派延べ7万人に

ゲーツ長官と防衛首脳会談 /// 小池大臣が訪米

FX問題で米の協力を要請 /// 小池大臣、防衛省で米国務副長官と会談

ゴランPKOの派遣期間を延長

米印共同訓練に参加 /// 9月4日からベンガル湾で 海自艦艇、航空機

7、8師団基幹で派米射撃訓練 /// 9月6日～15日 /// 空高射部隊も
ゴラン 23 次隊 /// 炎天下の物資輸送 黙々と役割を果たす
吉川海幕長 印度洋派遣部隊を視察 /// 「国益寄与の重要任務」

8/8「コラム」更新

・朝雲寸言 /// ・集团的自衛権の容認 /// ・ASEAN 結成 40 年

8/6「ニュース」更新

在沖海兵隊のグアム移転 /// 事業計画の周知図る /// 防衛省 200社を対象に説明会
中越沖地震 /// 災派延べ5万1000人に /// 給水支援など続く

米防衛産業協会 /// BMD開発で技術に業績賞

FX選定で守屋次官 /// 価格・整備面も重視 /// 「単一機種に限らず」

ネパール支援団 派遣隊員を激励 /// 木村副大臣

空自輸空隊12期 前段要員が帰国

1佐職異動を発令 /// 8月1日付

と列、弔砲など実施 宮沢元首相葬儀

参院選終わる 与党が敗北

不発弾 /// 自治体関係者らに処理要領の説明会 /// 沖縄 1混団・不処隊が開催

徳教空群で車両整備用のクレーンが完成

飛行点検隊、40年かけて /// 12万時間無事故飛行達成

試験機体に不具合 /// P-X C-X 荷重負担で一部変形

空中給油・輸送機 /// 納期、大幅に遅延 /// ボーイング社 型式証明取得に時間

新潟県中越沖地震被災地 /// イラク大使が災派部隊激励 /// 元サマワ派遣隊員と固い握手 /// 給水や入浴支援など視察

[民間航空機関連 (ex-SJAC 三輪さん)]

2007年8月10日 0:16 AIA dailyLead August 9, 2007

ロッキードマーチン F-22 60機 6000億円相当受注

Lockheed Martin to deliver 60 more F-22 Raptors for \$5 billion

The Air Force has awarded Lockheed Martin a \$5 billion contract to add 60 **F-22** Raptors, in lots of 20 each, to the Air Force by December 2011. The contract replaces three traditional single-year contracts for 20 jets and will save the Air Force \$411 million, according to officials. "The Air Force's efforts at streamlining the F-22 acquisition process through a multi-year contract is a substantial benefit to the American taxpayer," said an Air Force spokesperson. Air Force Link (8/8), RFDDesign (8/8)

ノースロップ・グラマン開発中の無人機に、「感知と衝突回避」装置を搭載

Northrop Grumman's unmanned aircraft will "sense and avoid"

Northrop Grumman will integrate "sense and avoid" technology into its unmanned aerial vehicles. The technology will make it safer for UAVs to share airspace with piloted aircraft, which "is an important element of the company's solution for the U.S. Navy's Broad Area Maritime Surveillance program," the company says. United Press International (8/8)

BAE 上半期業績17%増益は武器車両の増産が大きく寄与

BAE's midyear profits rise 17%

The gains, which exceeded expectations, are attributed in large part to sales of armored vehicles to meet increasing demand. Reuters

(8/9)

787用エンジンとしてロールスロイス製トレント 1000 が耐空性証明取得

Dreamliner engine certified airworthy

Rolls-Royce has announced that its Trent 1000 engine has received its airworthiness certification, removing a potential obstacle to the Boeing's 787's first flight. About half of the Dreamliners on order will feature the Rolls-Royce engine, the company said. GE Aviation has also developed an engine for the new jet. Airwise (8/8) , Seattle Post-Intelligencer (8/8)

ヴァージンアメリカの就航開始日 悪天候で散々な船出

Virgin America's first flight delayed by weather

Virgin America's inaugural flight was delayed by bad weather in New York, taking off 50 minutes late at 10:50 a.m. Torrential rains made moving about the city difficult: Founder Richard Branson was late, and TV personality Stephen Colbert gave up and went home. USA TODAY (8/8)

エアラインの慢性的遅延解決のために旅行者も支払い面で協力して航空管制の近代化を支援すべき

Airlines working hard to lessen impact of delays

Airlines are doing all they can to make life easier for passengers caught up in delays caused by weather and an overstressed air traffic control system, including extending employee workdays and improving communication with air travelers. These stopgap measures offer much-appreciated but limited benefits. What American aviation really needs is a modern air traffic control system, but passengers will have to help pay for it, says this article. The Christian Science Monitor (8/9)

2007年8月9日 0:16 AIA dailyLead August 8, 2007

ロッキード・マーチン 日本のミサイル(イージス艦艇用) 40 億円相当受注

Lockheed Martin wins \$33M Japanese missile contract

Lockheed Martin has won a \$33 million contract to outfit Japan's JDS Chokai destroyer with the Aegis Ballistic Missile Defense system. JDS Chokai is the second of four Japanese destroyers to have the system installed. American City Business Journals/Philadelphia (8/7) , The Philadelphia Inquirer (8/8)

ロッキード・マーチン ノースロップ・グラマンとB-2 ステルス爆撃機用に衛星通信システム契約 23百万ドル

Lockheed Martin lands \$23M contract with Northrop Grumman

Lockheed Martin was awarded a \$23 million contract by Northrop Grumman to assist in the upgrade of satellite communication systems for the Air Force B-2 stealth bomber. Lockheed will replace the B-2's flight management computers. CNNMoney.com/AFX News Limited (8/7) , Hemscott (U.K.) (8/8)

F-35JSF 用エンジンに GE と PW が開発受注をめぐって競争

GE fights to keep military jet engine development contract

General Electric is fighting to continue development of an engine for the F-35 Joint Strike Fighter. GE's engine would be competition for another engine under development by Pratt & Whitney. Pentagon officials say they can't afford to pay for the development of rival engines, but other analysts say competition between contractors would lower costs in the long run. The Wall Street Journal (subscription required) (8/8)

米海軍 MV-22(オスプレー)垂直離着陸機のサポート計画にバル・ボーイング合併会社へ契約

Bell-Boeing awarded Osprey support contract

The Navy gave a \$43.2 million contract boost to a joint venture between Boeing Co. and a unit of Textron for MV-22 Osprey aircraft support services. The Bell-Boeing Joint Program Office will provide planning and management services, training, support equipment and facilities management for the aircraft. Forbes/Associated Press (8/7)

9. 11 関連訴訟において航空会社は、CIA や FBI 高官たちを非難している

Aviation companies sue CIA, FBI over info on Sept. 11 attacks

Aviation companies and airlines preparing to defend against suits springing from the tragedies of Sept. 11 are seeking to depose officials with the FBI and CIA. The companies want to establish that the terrorists were so determined and well-financed that the airlines and aviation companies could not have prevented the attacks. Forty-one cases filed on behalf of 42 victims remain pending in federal court in New York. NBC4/NewsChannel 4 (New York) (8/7) , The Wall Street Journal (subscription required) (8/8)

デルタ航空 ヴィジョン・エアラインの B767 機体整備事業請負契約

Delta to service planes for Vision Airlines

Delta Air Lines has landed a five-year, \$9 million contract to service Vision Airlines's Boeing 767-200 aircraft. Delta TechOps will provide maintenance on components, auxiliary power units and landing gear, as well as inventory support services. American City Business Journals/Atlanta (8/7)

航空機内清掃状態に旅客はセンシティブになっている

Air passengers take note of airplane sanitation

Travelers notice the cleanliness, or lack thereof, of their surroundings, particularly those who are on an airplane sitting through a ground delay. Deep-cleaning cycles and between-flight wipe downs are getting more attention, and passengers are particularly sensitive about the availability of clean, working lavatories. The Wall Street Journal (subscription required) (8/8)

2007 年 8 月 8 日 0:26 AIA dailyLead August 7, 2007

ノースロップ・グラマン 無人機 X-47B 開発契約 米海軍は原子力空母搭載機として構想

Northrop Grumman lands \$636 million Navy contract

The Navy has awarded Northrop Grumman a six-year, \$635.8 million contract to further develop the X-47B fixed-wing unmanned air system. The program will allow the contractor to conduct takeoffs and landings from the Navy's nuclear-powered aircraft carriers. Northrop Grumman will build two X-47B aircraft for the Navy, with the first flights expected in 2009. United Press International (8/6) , DailyTech (8/6)

高出力音波探知機(ソナー)カルフォルニア沿岸で使用禁止 環境に配慮した裁判所決定

Judge prohibits Navy from using sonar off California

A federal judge has banned the Navy from using high-powered sonar in upcoming training exercises off Southern California, ruling that it could "cause irreparable harm to the environment." The ruling came in a lawsuit brought by environmentalists seeking broader safeguards to protect marine mammals from powerful blasts of mid-frequency active sonar. The Navy will appeal the decision and says that even a temporary ban will greatly hurt training efforts, potentially costing sailors' lives. The New York Times (8/7) , Los Angeles Times (free registration) (8/7)

将来の戦闘技術 いかに即戦力化できるか？

Future Combat Systems and WIN-T showcase rapid technology growth

Government customers want new technology today, not two years from now. Industry experts say it can be done if contractors use commercial gear that can be adapted for new purposes, bringing the product to market in weeks rather than in months. WashingtonTechnology.com (8/6)

MRJ プログラム 航空へ日本のブランドを

MRJ could bring Japanese brand to the air

Mitsubishi Heavy Industries is known for its airplane parts and has poured billions of dollars into manufacturing facilities. Next spring, the company plans to start building a plane of its own, a 70- to 90-seat commercial passenger jet called the MRJ, or Mitsubishi Regional Jet. BusinessWeek (8/2)

米国内 フライト遅延 13年間で最悪の状況

Flight delays at 13-year high

Flight delays within the U.S. have reached their highest level in 13 years, according to the DOT. Industry experts say the increase can be blamed on an overstressed, outdated air traffic control system. "We're not surprised by the numbers. We have been saying for some time: It's going to get worse before it gets better," said a spokesman for the Air Transport Association. Breitbart.com/Associated Press (8/6), NewsMax.com (8/6), Pittsburgh Tribune-Review (8/7)

リージョンエア FAA 相手に不公正取引だとして提訴の構え

RegionsAir may file suit against FAA

Industry observers say RegionsAir may file a lawsuit against the FAA claiming that the federal agency entered an agreement with the carrier "in bad faith," eventually forcing the airline to cease operations. RegionsAir is seeking \$10 million in damages, plus interest and attorney's fees. Aviation Daily (8/6)

ヴァージン・アメリカ航空は 機内での音楽番組ダウンロードやメール送信などのサービス開始

Virgin America passengers can download music, send text messages

Virgin America will offer air travelers the opportunity to text message and download music from a 3,000-song library on flights. Aeronautical Radio will provide a real-time broadband payment system. Yahoo!/InformationWeek (8/6)

エアニュージーランド航空777用として GE エンジンを選択

Air New Zealand chooses GE Aviation engines

Air New Zealand has picked GE Aviation engines for its Boeing 777-300ER models. The carrier ordered four planes, plus options for three additional aircraft. The order is worth \$250 million to GE Aviation. American City Business Journals/Cincinnati (8/6)

S スペースシャトル「エンデバー」はほとんど新型といえる徹底した改造

S Extensive overhaul makes Endeavour "like new"

The space shuttle Endeavour has a new cockpit, modern satellite navigation gear, advanced main engine sensors and a power system that will allow it an extended stay at the International Space Station. More than 150 miles of wiring have been inspected, 13,156 safety checks made and 194 modifications carried out since it was sidelined. "It's like a new space shuttle. It's been completely inspected from stem to stern," said NASA shuttle program manager Wayne Hale. Florida Today (Melbourne) (8/7)

2007年8月7日 2:28 AIA dailyLead August 6, 2007

米国防予算(4600億ドル≈55兆円相当)が下院で承認 原潜建造費も含む

House approves \$460B defense bill, includes extra submarine funds

The House passed a \$460 billion defense spending plan Sunday by a 393-13 vote. The bill includes \$588 million to boost production of Virginia-class nuclear submarines from one per year to two, as well as funds for a 3.5% pay hike for servicemen. Boston Herald/Associated Press (8/5) , Norwich Bulletin (Conn.) (8/6) , The Washington Post/Associated Press (8/5)

空中給油機 ボーイングとBAE との間の熾烈な受注合戦

Pentagon will not split tanker order

The Defense Department will not split a contract for 80 new refueling tankers between multiple suppliers. Boeing and EADS are competing to win the lucrative deal, worth an estimated \$40 billion. MSNBC (8/5) , Financial Times (free content) (8/5)

フロリダ地域の企業エキ्यूゼキュテヴ 超軽飛行機運航会社の運航開始に注目

Florida executives look forward to DayJet launch

DayJet, a startup airline that will serve small airports in Florida with a fleet of very light jets, has gotten the attention of area business leaders before its planes have even left the ground. Corporate fliers hope the commercial carrier will be a good alternative to expensive charter flights. Forbes/Associated Press (8/4)

ミッドウェスト航空会社を買収しようという候補 4 社

Midwest has four potential buyers

Midwest Air Group announced on Friday that four possible buyers have expressed interest in the airline. The carrier has signed confidentiality agreements with all four, meaning that they can look over Midwest's books while the airline considers its next move. None of the interested parties were named, although AirTran Holdings has long expressed a desire to merge with Midwest. Chicago Tribune/Associated Press (free registration) (8/4)

S エンデヴァー 水曜打上げに向けて秒読み開始

S Endeavour begins launch countdown

NASA has begun a countdown to Endeavour's planned Wednesday launch. The agency said that a leak in the shuttle's crew cabin has been located and repaired. Endeavor crew member Barbara Morgan will be NASA's first educator-astronaut to go into space. She was the backup for teacher Christa McAuliffe, who died aboard the Challenger in 1986. ClipSyndicate (8/6) , Houston Chronicle/Associated Press (8/5)

2007 年 8 月 10 日 0:16 AIA dailyLead August 9, 2007

負けても笑顔、そして次の日には戻ってくる、勝っても笑顔、そして次の日には帰ってくる。

プロ野球選手 ケン・グリフィー Jr.

"You lose, you smile, and you come back the next day. You win, you smile, you come back the next day."

--Ken Griffey Jr., professional baseball player

2007 年 8 月 9 日 0:16 AIA dailyLead August 8, 2007

熱狂的に辞めさせられるのでなければ、熱中してやめるべきだ。(よく真意がわかっていません: 訳者)

プロサッカーコーチ ヴィンス・ロンバルディ

"If you aren't fired with enthusiasm, you'll be fired with enthusiasm."

--Vince Lombardi, professional football coach

2007年8月8日 0:26 AIA dailyLead August 7, 2007

火に火を注ぐな！ ギリシャ諺

“Add not fire to fire.” --Greek proverb

2007年8月7日 2:28 AIA dailyLead August 6, 2007

しばらく座って考えることを懼れてはいけない

作家・劇作家 ロレーヌ・ハンスベリー

“Never be afraid to sit awhile and think.”

--Lorraine Hansberry, writer and playwright

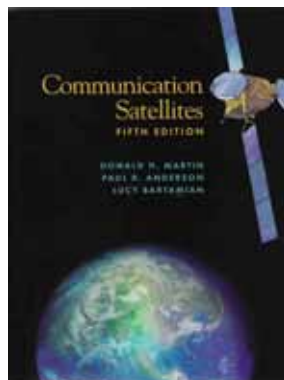
[新刊紹介] 2007 米軍宇宙年鑑 2007 Space Almanac Air Force Magazine 2007.8 page 74 - page 92

[編注] <http://www.space-library.com/> 5.2 米国セキュリティ、軍事関連レポートなど のバーチャル書架からダウンロード可



[新刊紹介] Communication Satellites AIAA

[編注] <http://www.space-library.com/> 5.8 航空宇宙技術関連出版物 のバーチャル書架に Contents 等あり



[新刊紹介] 月刊誌「軍事研究」2007年9月号発売中。定価980円。

表紙写真・海自の次期固定翼哨戒機(P-X):野口卓也 /// 巻頭言・洞爺湖サミットにおけるテロへの備え:志方俊之

》写真ページ《 カラー:P-X、C-Xロールアウト:野口卓也

モノクロ:パリ・エアショー2007:青木謙知 ///海自特別警備隊、現る!:野口卓也 ///第8師団北へ、平成19年度北方転地演習:花井健郎



ミリタリー・ニュース

連載:連載:21世紀の米空軍《次世代航空宇宙戦力》(7)

新型LRS爆撃機&極超音速兵器

新型LRS(長距離打撃)爆撃機の開発案/PGSシステムと次世代極超音速兵器

軍事情報研究会

特集 国際巨大軍事メーカーの市場支配戦略

収益・技術力・特徴とM&A

グローバル軍需産業の世界戦略

民需企業の方が厳しい条件で先端技術に取り組んでいる、軍需産業の実態を解説！ 野木恵一

世界の軍需産業で売上げ1・2・4位を独占 米国三大航空機メーカー

全てを単独メーカーが造ることはなく、互いに得意分野を分担し利益を得ている！ 石川潤一

(以下略)

[spacetoday.net: military] http://www.spacetoday.net/articles_bycategory.php?cid=18

Friday, August 10

Companies Line Up to Bid on New GPS

AP — 5:41 am ET (0941 GMT)

Competitors Line Up to Bid On Air Force's GPS Upgrade

Wall Street Journal — 5:40 am ET (0940 GMT)

Thursday, August 9

Boeing TEAM TSAT Demonstrates Technology Maturity

Boeing — 12:40 pm ET (1640 GMT)

Two pioneers inducted into 2007 Air Force Space and Missile

Pioneers Hall of Fame

US Air Force — 5:24 am ET (0924 GMT)

Former astronaut becomes space hall of famer

US Air Force — 5:24 am ET (0924 GMT)

Monday, August 6

SBIRS continues reaching successful milestones

US Air Force — 6:59 pm ET (2259 GMT)

Northrop Grumman Delivers SBIRS GEO-1 Payload to Lockheed

Martin

Prime Newswire — 6:57 pm ET (2257 GMT)

[spacetoday.net: China] http://www.spacetoday.net/articles_bycategory.php?cid=42

Monday, August 13

Chinese intentions and American preparedness

The Space Review — 9:18 am ET (1318 GMT)

Aerospace experts: At least 3 satellites malfunctioning since 2006

Xinhua — 8:52 am ET (1252 GMT)

China develops Beidou satellite monitoring system

Xinhua — 8:52 am ET (1252 GMT)

First manned mission threatened by communication blackout

Xinhua — 8:51 am ET (1251 GMT)

China reveals deadly threat to historic space flight

AFP — 8:41 am ET (1241 GMT)

China reveals first astronaut's brush with death

Reuters — 8:34 am ET (1234 GMT)

Friday, August 10

China ready to launch 1st lunar satellite

Xinhua — 12:40 pm ET (1640 GMT)

China plans to measure the soil of the moon

Xinhua — 12:40 pm ET (1640 GMT)

China to map "every inch" of moon surface: report

Reuters — 5:29 am ET (0929 GMT)

Monday, August 6

China will use GPS to track Olympic food

AP — 6:55 pm ET (2255 GMT)

Premier Wen pays visits to senior scientists

Xinhua — 12:34 pm ET (1634 GMT)

[\[Missile & Satellite Defense Report\]](#) [Table of Contents](#) via Rick Hashimoto (Boeing)

August 6, 2007 Volume 8 Issue 30

- * Mullen Strongly Backs Missile Defense Program; Voices Concern On China
- * Space Shuttle Endeavour Launch Delayed To 6:36 p.m. ET Wednesday
- * Astronaut Says Borders, Hatreds Disappear In View From Space
- * Mars Rovers Still Suffer From Too Little Sunlight, Power Shortage; NASA Worried
- * Moon Science Projects Selected For Workers In Envisioned Lunar Colony
- * Launches
- * Contracts
- * New Missile Defense Agency Building Commissioned At Redstone Arsenal
- * SBIRS Finishes End-To-End Test, Lockheed Announces

[\[Defense Daily\]](#) [Table of Contents](#) via Rick Hashimoto (Boeing)

August 13, 2007 Volume 235 Issue 30

- * Defense Watch
- * Thales Looks To Build On Current Efforts To Enter U.S. Defense Market
- * NRC: Too Much Secrecy On Fuel Sites
- * Soldiers Gearing Up For Exercise In Romania
- * Correction

August 10, 2007 Volume 235 Issue 29

- * Lockheed Martin Overbilled JSF Program Office \$265 Million, Company Says
- * DARPA Eyes Mini Satellites For Rapid Launch To Protect Other Spacecraft
- * DARPA Launches Program To Verify Safety of Foreign-Built Microchips
- * Appropriations Bill Aims To Discipline Pentagon Budgeting, End Supplementals

- * Peacetime And Wartime Airspace Integration A Challenge For Manned, Unmanned Aircraft
- * DARPA Announces 36 Semifinalists For November's Urban Challenge
- * England: War On Terror Calls For American Engagement, Not Drawback
- * SRA's Profit Dips In Fourth Quarter
- * USJFCOM Works Strategic Communication Initiative
- * Coast Guard Awards Deepwater ICGS \$592 Million For Third NSC, Additional Work

August 9, 2007 Volume 235 Issue 28

- * Neutralizing IEDs Remains Marine Corps Most Urgent Need, General Says
- * ICx Technologies Plans Public Stock Offering
- * Boeing Looking To Add Chem-Bio Sensors To ScanEagle Under DTRA ATD
- * Navy Looking To Hold Industry Day Next Month For Aegis Combat System Competition
- * Pennsylvania Congressman Calls For Expeditious Review of Newest CSAR-X Protests
- * Northrop Grumman Works To Build Navy Support For UCAS-D
- * ORS Office To Assess Military Utility of TacSat
- * General Dynamics Wins \$338 Million MRAP Order

August 8, 2007 Volume 235 Issue 27

- * Industry Official: House Intel Bill Language Could Delay Global Hawk By One Year
- * Northrop Grumman Hoping 'White Tail' Fire Scout Will Yield New Business
- * Boeing, Washington Delegation Stake Out Winner-Take-All Position For Tanker Bid
- * Air Force Certifies Synthetic Fuel Mix For Use On B-52H Bomber Aircraft
- * Navy Wraps Up Operational Common Submarine Radio Room Qualification Tests
- * Bahrain To Spend \$160 Million For Air Search And Recovery Helicopters
- * Brazil Seeking Integrated Combat Systems For Submarines
- * Morocco Seeking 60 M109A5 155mm Self-Propelled Howitzers
- * Navy Seeking Information On VHF FM Transmitters For UAS
- * Boeing Picks Harris For SDB II Data Link Technology

August 7, 2007 Volume 235 Issue 26

- * Etter Sees Northrop Grumman Program Deciding Whether UAVs Are Carrier-Safe
- * Future Looks Good For Navy's F/A-18E/F Super Hornet, Official Says
- * Harris Builds Falcon III Radio Family Under JTRS Architecture
- * Israel To Spend \$465 Million On Munitions, Weapon Systems
- * Spain To Spend \$780 Million For AEGIS Weapon System, Parts
- * Canada Seeking Radar Warning Receivers For Its F/A-18s
- * PACOM Chief: Greater Military Ties With China Would Be A Stabilizing Force
- * Myriad UAVs, UGVs Highlight Webster Field Demonstration